

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

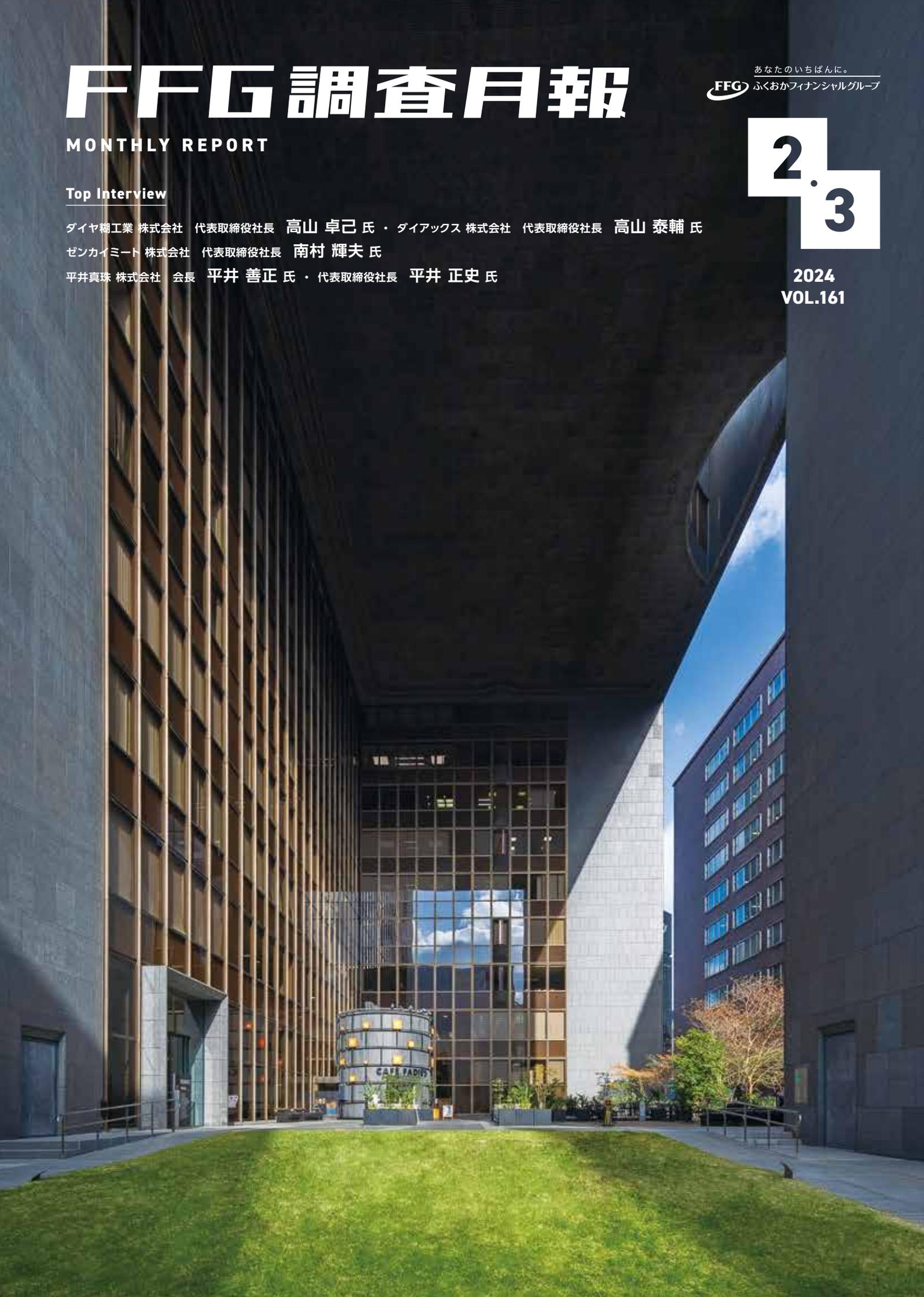
Top Interview

ダイヤ鞆工業 株式会社 代表取締役社長 高山 卓己 氏 ・ ダイアックス 株式会社 代表取締役社長 高山 泰輔 氏
ゼンカイミート 株式会社 代表取締役社長 南村 輝夫 氏
平井真珠 株式会社 会長 平井 善正 氏 ・ 代表取締役社長 平井 正史 氏

あなたのいちばんに。
FFG 福岡フィナンシャルグループ

2.
3

2024
VOL.161



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

過去と未来は 繋がっている



▲多数の小石が積まれた天安河原



▲上:天安河原
下:左:手力男命戸取像(西本宮)、右:天鈿女命像(東本宮)

五ヶ瀬川が深い渓谷を刻み、深山幽谷が雲海を呼ぶ宮崎県北部の高千穂町。神々はいたるところに存在し、人々は多くの社を祀ってきた。数多の冬を越えてきた夜神楽の神事は今も暮らしの中に息づいている。

「天岩戸神社」は巨木が林立する東本宮と対岸の西本宮からなる。両宮に参拝し、そのまま徒歩で「天安河原」へ。岩戸川渓谷の整備された歩道をしばらく行けば巨大な洞に辿り着く。ここが古事記に登場する天照大神が天岩戸に隠れた際に八百万の神々が話し合ったという場所だ。洞のそこそこに祈願する人々たちによって積まれたおびただしい数の小石が、不思議な雰囲気醸し出している。いくつもの時代を通り過ぎ、幾千万の願い事が静寂の中で熟成しているような場所だった。

(文・阿井川 圭)



▲天岩戸神社西本宮

●天岩戸神社

住所：
宮崎県西臼杵郡
高千穂町岩戸
1073-1



CONTENTS



懐かしい情景を探して
過去と未来は繋がっている

30 地域とつながるFFG連携プロジェクト
福岡市内産農産物の
ブランド構築に向けたプロジェクト始動!

Top Interview

2 **福岡銀行**
ダイヤ糊工業 株式会社 ダイアックス 株式会社
代表取締役社長 代表取締役社長
高山 卓己氏 ・ 高山 泰輔 氏

「麹町なだ万福岡別邸」を活用した
福岡県の魅力発信イベント開催!
～福岡県の食、伝統工芸品、観光情報、
歴史・文化を全国へ～

「菊陽町物産展」をふくぎん本店広場で開催!

8 **熊本銀行**
ゼンカイミート 株式会社 代表取締役社長
南村 輝夫 氏

36 われら社会貢献企業
協和商工 株式会社

14 **十八親和銀行**
平井真珠 株式会社
会長 代表取締役社長
平井 善正 氏 ・ 平井 正史 氏

38 地域と共生するFFG
HILLTOP RESORT FUKUOKA

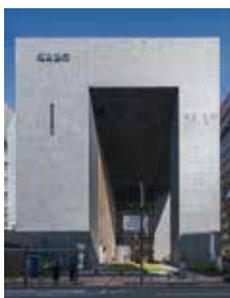
48 釣り道
加布里湾、追憶のアイナメ編

20 Interview Before After
株式会社 九州エース電研 代表取締役 山田 篤 氏

50 長崎だより
今、私が長崎に貢献できること

バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



今月の表紙 福岡銀行 本店ビル(福岡市中央区)

表紙の写真は、「福岡銀行 本店ビル」です。1975年に建てられた地下5階、地上12階建ての建物は、世界的に有名な建築家・故 黒川紀章氏が設計しました。地上30m以上の吹き抜けの広いオープンスペースには芝生広場やウッドデッキがあり、「ビルの谷間のコンサート」と題した音楽イベントや物産展なども開催しています。また、地下には692席の木造音楽ホール「FFGホール」があり、クラシックコンサートや様々な地域イベントに活用されています。

国内建築を表彰するBCS賞や、福岡市都市景観賞、25年以上にわたり建物の存在価値を発揮して地域社会に貢献してきた建築物を表彰するJIA25年賞などを受賞し、地域に愛される建物になっています。



福岡銀行

「ダイヤ糊」が生まれて75年。

その技術力、開発力をもつて

ニーズに応える新製品を生み続ける。

ダイヤ糊工業株式会社

代表取締役社長
高山卓己氏

ダイヤックス株式会社

代表取締役社長
高山泰輔氏

取引店／福岡銀行八女支店

■会社概要

【ダイヤ糊工業株式会社】

設立:1949年／所在地:福岡県八女市／資本金:
3,000万円／従業員:20名／事業内容:接着剤、
保冷剤、保温剤、玩具、バイオ製品の開発・製造

【ダイヤックス株式会社】

設立:1990年／所在地:福岡県八女市／資本金:
2,000万円／従業員:5名／事業内容:接着剤、
保冷剤、保温剤、玩具、バイオ商品の販売

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社正門前(左から高山泰輔社長、高山卓己社長、五島頭取)

75年続くロングセラー どこの家庭にもあった パリッと仕上がる「ダイヤ糊」

洗濯糊^{のり}、障子やふすま張り用の糊として親しまれてきた「ダイヤ糊」。中高年以上の方であれば、昔^{むかし}このご家庭にもあったのではないでしょうか。当社はこの「ダイヤ糊」をはじめとする糊関連製品を、75年にわたって製造してきました。

創業したのは私（高山卓己社長）の父である、先代社長の高山正男^{まさお}です。先代は当時主流であった「ふのり」に代わる糊ができないものかと考え、ここ八女で、製紙会社用糊および事務用糊の製造を目的に「旭工業」を創業します。当時はでんぷんの確保が難しく、彼岸花の球根を原料にしてみるなど、様々な原料を試していました。

ビニール袋に詰めて販売した 「ダイヤ糊」がヒット！

そのような紆余曲折の中、1949年に小麦のでんぷんを原料にした新しいいでんぷん糊の開発に成功します。それが今も続く「ダイヤ糊」です。それまで糊の包装は瓶詰めが一般的でし

たが、当社では日本で初めて、ビニール袋に詰めて販売。これにより輸送がしやすくなり、九州一円に販売網が広がっていきました。

今でこそ、洗濯糊を使用するご家庭は少なくなつたものの、そのパリツとした仕上がりの良さから今なおロングセラーを続けている製品です。

一方、1964年からは関連製品の開発を目指し、強い接着力と柔軟性などに優れた合成樹脂接着剤「酢酸ビニルエマルジョン」の製造を開始しています。この製造によって、洗濯糊だけでなく家具や段ボール、壁紙などの内装の接着剤としての市場開拓に成功しました。

1990年には販売部門を独立させ、「ダイアックス株式会社」を設立します。これは糊以外の製品が増えてきたために、「糊」のイメージが強い社名では販売しづらいといった事情があったことでした。現在は、私の息子の泰輔が社長を務めており、国内ではホームセンターを中心に展開し、海外にも販売網を広げています。

家庭でのニーズが減少 顧客が求めるものを作り続ける

ビニール袋での販売が開始した1949年に法人化し、社名も「ダイヤ糊工業株式会社」と



3 1



4 2



5



6





ダイアックス株式会社 高山泰輔社長



ダイヤ糊工業株式会社 高山卓巳社長

改めました。
しかし、時代は常に変化します。家庭の洗濯で糊付けをする習慣がなくなり、安価な製品も進出してきました。そのような流れはどの製品であっても逃れることはできません。10年ほどのサイクルでニーズが変わることを念頭に入れ、常に新しい製品の開発に挑戦し続けてきました。

接着剤の用途としては現在、紙器用、製袋用、障子・ふすま・壁紙用、トイレトーパー用、提灯や打ち上げ花火用、段ボール用、卒業アルバム用など多岐にわたっています。常に顧客のニーズに応じた製品を作り続けると同時に、糊の技術を元に新しい製品の開発にも着手。保冷剤、防カビ剤・消臭剤といったバイオ製品、子ども向けの玩具なども開発しています。

**保冷剤やバイオ製品、玩具も続々
その根底にあるのは
良い製品を作り続けること**

当社の社訓の最初に、「吾々は、偽りと過ちのない良い製品で、社会に奉仕し貢献する」を掲げています。この言葉通り、当社では良い製品を作ることを第一に開発してきました。

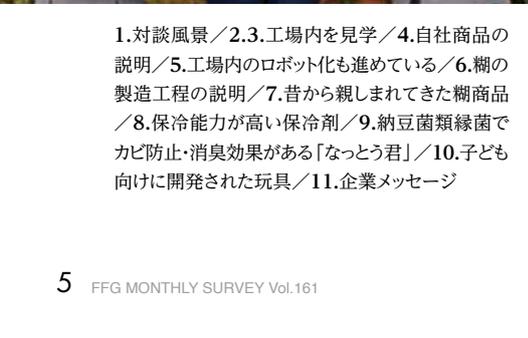
例えば、バイオ製品である「なっとう君」シリーズは、天然素材のカビ取り、消臭剤です。この製品は、納豆菌の仲間である納豆菌類緑菌という微生物の持つ力を利用した防カビ製品で、福岡県工業技術センター・生物食品研究所と協力して開発しました。安全性が高く、人に優しい製品として高い評価をいただいています。
保冷剤も今や様々なメーカーが製造していま



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.3.工場内を見学／4.自社商品の説明／5.工場内のロボット化も進めている／6.糊の製造工程の説明／7.昔から親しまれてきた糊商品／8.保冷能力が高い保冷剤／9.納豆菌類緑菌でカビ防止・消臭効果がある「なっとう君」／10.子ども向けに開発された玩具／11.企業メッセージ



最前列左3人目からダイアックス株式会社成田課長、高山泰輔社長、高山卓己社長、五島頭取、武藤支店長(福岡銀行)

ですが、当社の保冷剤「クールタッチ」は、保冷能力が高く、長時間10℃以下の状態に保つことが実証されています。当社独自の技術やノウハウが蓄積されてきたからこそ、このような信頼される高い品質の製品を生み出すことができたのです。

玩具については、合成樹脂であるPVA(ポリビニルアルコール)を使った「PVAのり」の特性を活かしたバルーンスライムなど、知的かつ子どもたちの感性が豊かになる製品開発を行っています。「PVAのり」はホウ砂(四ホウ酸ナトリウム)などを混ぜることで「ふうせんねん土」となり、子どもたちが自分たちで作ったり、膨らませて遊んだり、想像力を掻き立てる玩具としても愛されています。

25歳で突然の社長就任 良い人間関係に支えられて

私が社長に就任したのは25歳の時でした。先代の父が急逝し、東京支社の立ち上げで福岡を離れていた私は急遽、本社に戻りました。突然のことで、何も父から教わっていなかった中、私を支えてくれたのは従業員、そして取引先や地元の皆様でした。良い製品作りとともに、良い

人間関係を築いてきたことが、今日につながっていると実感しています。

しかし、当社も昨今は人材不足が続いています。それらを補うためにロボットなどの最新機械を導入し省力化も進めています。やはり「人」が重要です。私たちの品質を守る技術を習得するには、実は10年ほどの年月がかかります。

現在の社員の平均年齢は30代と意外に若くなっています。これはダイヤ糊工業が創業75年、ダイアックスが創業34年とちょうど従来の社員と若手の移り変わる時期に当たり、新しい発想と力が必要な時期に差し掛かっていることを示していると思います。

そんな中で、私たちの製品を知り「ぜひ働きたい」とわざわざ連絡をくれて、現在は、品質管理部門の大きな力になってくれている若い人材もいます。良い製品を作ることは、人材獲得にもつながることを実感しました。

ニーズが多様化する時代 可能性をさらに広げていく

現在の本社社屋・工場は、2001年に完成しました。かなりの敷地があるので、今は元々

本社があつた第二工場や倉庫を全部こちらに集約しようと計画しています。

昨今はホームセンターの台頭で、消費者ニーズが多様化し、製品の差別化・利便性の追求、価格の選択など様々な課題に対応する必要に迫られています。特に今一番注目されているSDGs(持続可能な開発目標)の観点から考えて、合成樹脂接着剤よりも体に優しいでんぷん系接着剤の良さが見直されてくるのではないかと考えています。

新しい分野では、糊の粘性に着目し、除草剤や殺虫剤の分野でも注目されています。接着剤は宇宙ロケットにも使われていますので、可能性はまだ無限大にあると思っています。顧客のニーズに応える技術力で、更なる新しい製品の開発に力を入れてまいります。

いずれは息子の泰輔にすべての事業を継いでもらう予定です。10年、20年後を見据えてお客様や市場のニーズの変化を捉えながら、ものづくりの会社として時代に合った製品の開発や経営を継続していき、様々な変化を加えながら100周年を迎えることを期待しています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

ビニール袋に入った「ダイヤ糊」、馴染み深い方も多いと思います。当社は、祖業であるでんぷん糊製造技術を、接着剤、保冷剤、バイオ製品、玩具開発など幅広い分野に展開してこられました。

でんぷん糊は天然素材で作られており、環境にも身体にも優しい製品です。SDGsの観点からも、当社がこれまで培ってきた技術が改めて評価されており、そうした社会の要請はこれから更に高まるものと思います。

当社は今年、創業75年。製品開発への強いこだわりと柔軟な発想力を原動力に、100年企業への道のりを着実に歩んでおられます。





 熊本銀行

豪雨災害を乗り越え新工場で再起。
海外ハラル認証を強みとして
グローバル展開へ。

ゼンカイミート株式会社

代表取締役社長

南村 輝夫 氏
なむら てるお

取引店／熊本銀行人吉支店

■会社概要

設立:1989年／所在地:熊本県球磨郡錦町／
資本金:2億5,100万円／従業員:62名／事業
内容:牛のと畜解体処理、食肉加工処理および
販売

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





2023年9月に竣工した本社工場前(左から南村社長、野村頭取)

BSEという大きな試練に 積極的な挑戦で立ち向かう

当社は1989年、全国開拓農業協同組合連合会（通称…全開連）を始めとする開拓農協系統によって設立された牛を専門とする食肉処理加工業者です。ゼンカイミートという社名も「全開連」に由来しています。

当社でと畜および加工を手がけている牛は、天然ハープとビタミネEを強化した配合飼料で育てた「ハープ牛」や「ハープ交雑種」、開拓地で育まれた「開拓牛」など、地元九州産の国産牛です。付加価値の高い牛肉であり、それらを工場直売とネット通販というチャネルを使って手頃な価格で提供。と畜から出荷・販売までを一貫して行う体制を整えています。

そもそも九州は「畜産王国」といわれるほど畜産が盛んであり、北海道が酪農の盛んとなった歴史を有するのに対して、九州は肉用牛の生産で知られています。

当社は設立以来、生産者が安全・安心な飼料を用い、薬や抗生物質などを極力与えなくとも健康に育つ環境を整備しながら丹念に育てあげた肉牛を、責任をもって食肉加工処理

する役割を担ってきました。

そのため、1997年に病原性大腸菌O157汚染防止対策となると畜場施設を設けて、操業を行ってきましたが、最大の試練となったのが2001年に起きたBSE（牛海綿状脳症…いわゆる狂牛病）の問題でした。牛肉の需要が急落して厳しい経営状況に追い込まれましたが、「ピンチはチャンス」という言葉があるように、新たな挑戦に乗り出すことで苦境を乗り越えてきました。具体的には、ホルモン等の商品の仲卸を相手とする販売から消費者に対する直接販売への切り替え、加工品の開発・販売開始、牛肉や内臓類を新鮮なまま保存できる急速冷凍システムの導入などの施策です。

牛専門のと畜・加工施設が もたらした新たな方向性

その後も、2007年にインターネット通販を開始し、工場直売所をリニューアルするなどの取り組みで、事業の特色を打ち出してきました。2012年には、食品衛生優良施設として表彰されています。また、「生産者の顔が見える商品供給」を実現するため、トレーサ





南村社長

ヒリテイシステム（個体識別番号で識別・管理し、生産者や産地が消費者にもわかる仕組み）も構築しています。

なかでも、当社の方向性を探るうえで最も重要な岐路となったのが、2012年のインドネシアの認証機関からの「ハラール認証」取得で、日本では初めての事例となりました。「ハラール」とはイスラム教の戒律で「許されたもの」を意味します。ハラール食品を販売するには、その原材料や製造工程（と畜方法や設備も含む）などの審査を受けて、イスラム教では禁じられている豚肉やアルコール類を使用していないことを認証してもらう必要があります。

当社の工場は、もともと牛肉のみをと畜、加工する施設であるのに対し、国内のと畜・加工施設は豚肉も手がけるところが多いため、

ハラール認証を取得するのが難しいのです。当時、牛肉の輸出先として注目されていたのは米国や中国でしたが、親日家の多いASEAN諸国にも日本の牛肉に対するニーズがあります。さらにいえば、ASEAN諸国に多くに存在するイスラム教徒の食品マーケットは大きな成長が見込めますし、ハラール食品は日本国内でも一定の需要があります。

将来的な国内市場の縮小を見越しての挑戦は、日本で過去に例がないだけに当初は手探り状態での取り組みが続きましたが、世界最大のイスラム国家であるインドネシアの認証機関からのハラール認証取得は、海外へ向けた輸出の道を拓く足がかりとなりました。

さらに2017年、当社はマレーシア政府よりハラール処理施設として承認され、日本政府よりマレーシア向け輸出施設として公表されました。翌18年には、UAE・カタール・バーレーン向けの輸出施設としても公表されることになりました。イスラム圏へ向けた海外展開の土台が着々と構築されていきました。

まず国内在住および訪日したイスラム教徒向けに牛肉を販売するようになったのは、牛肉のみを扱う施設がもたらしたメリットといえます。



11 9



7



1.対談風景／2.応接室から見える加工場の見学／3.と畜工程の説明／4.令和2年7月豪雨当時の写真の説明／5.礼拝室を見学／6.礼拝堂の入り口には身を清めるスペースがある／7.新工場の前を散策／8.解体を行うクリーンゾーン／9.新工場全景／10.ECサイトで販売されているハーフ牛／11.企業メッセージ



8





前列左から下田部長、犬童工場長、南村社長、野村頭取、米田支店長(熊本銀行)

新工場で気持ちも新たに 海外展開を目指す

そんな矢先、またもや大きな試練が当社を襲いました。令和2年(2020年)7月豪雨によって工場および直売所が被災し、生産者が思いを込めて育てた安全で安心、こだわりのおいしい牛肉を提供できなくなりました。

工場が稼働できなかった間もなんとか従業員の雇用を守りながら、同じ錦町の木上に新工場の建設を進められたのは、当社関連組織の協力や地域の方々のご支援のおかげです。熊本銀行さんにも、再稼働までの資金繰りの面で大変お世話になりました。

その結果、2023年8月に新工場が完成。試運転を経て、10月の再稼働にこぎつけることができました。新社長となった私を含め、新たに従業員となった人たち、以前から社業に専らしていた人にとっても、新工場での業務は新しい試みとなりました。

新工場の設計では、旧工場の難点を解決すべく、動線や作業効率を見直し、働きやすい職場環境の実現に努めました。また、再出発を機に、従業員の衛生面、労働安全面、品質管理面での再教育に力を入れ、技術継承と技能

向上を促す意欲の醸成にも取り組みました。さらには、ハラール認証取得に際してイスラム教徒の従業員を雇用し、彼らのために専用の礼拝室を新設しました。

当社では、2004年に「ISO9001（品質マネジメントに関する国際規格）」と「HACCP（衛生管理手法の規格）」の認証を取得していますが、海外への輸出には、さらに上位の規格である「ISO22000」の取得が必要になります。取得には3か月以上の稼働実績が条件となるため、新工場がその条件を満たした後、二度の審査を経て、認証取得を目指さねばなりません。今春に認証を得て、海外への輸出を開始できるよう、歩みを進めていきます。

生産農家の未来と地域の未来

双方を担いつつ

インバウンド促進も視野に

当社の事業活動には、肉用牛の生産農家の生活を守り、その未来を担う側面があります。また同時に、人吉・球磨地区に暮らす人々に働く場を提供する意味で、地域の未来を担う側面もあります。当社には親子、夫婦の関係

とともに働いている人たちがいます。先に働いていた人が当社の働きやすさを家族に伝えて、家族も働くようになりました。そういった意味では、これからも従業員の子、孫の代にも働きたいと思ってもらえるような会社を目指していきたいと思っています。

さらには、地域活性化への貢献も、私たちは使命の一つと捉えています。旧工場では地元小学生の工場見学を受け入れていましたが、新工場では作業場の見学コースを設置しています。また、豪雨災害前に敷地内に整備していたバーベキュー施設を復活させ、地元の方々に開放できたらと考えています。将来的には、近隣の企業や施設などと連携して、修学旅行などを誘致できるような取り組みにまで発展させられればと考えています。

そして、当社にはハラール認証に際して獲得したイスラム教文化に対する知見があります。ハラール牛肉と飲食店、ホテル、旅館、観光施設、鉄道などを結びつけながらインバウンド需要を開拓する要の役割を担って、地域活性化のモデルケースを生み出せたら、当社の存在意義をより確かで揺るぎないものにできるでしょう。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳



全開連傘下の食肉処理加工場として設立された後、ISO9001、HACCPおよびハラールの認証取得工場となり、安全でおいしい牛肉の市場供給を通じて実績を積んだ結果、食品衛生優良施設に認定され、「がんばる中小企業300社」に選出されるなど、企業として多くの信頼を獲得してこられました。

更に、日本で初めて、海外の認証機関によるハラール認証を取得されたことで、人吉・球磨から海外市場へと進出するグローバル展開が期待されています。新工場稼働を機に一層の躍進を果たされますよう願っています。



十八親和銀行

国内屈指の真珠産地である対馬で
トップクラスの生産量と品質を誇る。

平井真珠株式会社

会長

平井善正氏

代表取締役社長

平井正史氏

取引店／十八親和銀行 豊玉支店

■会社概要

創業:1964年／設立:2009年／所在地:長崎県対馬市／資本金:
200万円／従業員:30名／事業内容:真珠養殖業



養殖場を対岸に臨む(左から平井善正会長、平井正史社長、山川頭取)

真珠養殖に適していた 対馬の自然環境

一般的にはあまり知られていないかもしれませんが、対馬の真珠養殖には歴史があります。今からおよそ100年前の大正時代に、三重県の事業者が進出して真珠養殖に着手したのが始まりです。もともと天然のアコヤ貝が生息する対馬は、いくつもの小さな島と複雑な地形の入江をもつリアス式海岸から成る独特な地形で、海面の波の穏やかさが良質な真珠を生産するのに適しています。九州本土から100km以上隔たっているため、生活排水などで海が汚れていないことなども、真珠生産に好都合な環境とされています。

近年、長崎県の真珠生産量は三重県、愛媛県と並び日本のトップクラスを誇りますが、その長崎の中でも対馬の2年物真珠の品質は、愛媛県の宇和島と並び非常に高い評価を受けています。また、生産額においても日本屈指の規模に成長し、対馬における主要産業の一つに数えられるようになっていきます。

1964年、私の父で現会長(当社の初代社長)である平井善正が、対馬で伝統的に行われるようになった真珠養殖を自らの生業として始めたのが当社の始まりです。

しかし、その後のオイルショックによる世界経済の混乱、バブル経済の崩壊、さらには安価な中国真珠の台頭など、我が国の真珠業界は受難の時を過ごします。ピーク時には70社以上あった当地域の真珠養殖事業者は、その数を減らしていきました。

苦境を乗り越えさせたのは 絶対に諦めない気持ち

苦難の真珠養殖から当社が撤退せずに、たび重なる危機的状況を何とか脱しながらこまめやつてこられたのは、初代社長の諦めない気持ちによるところが大きかったと思います。

真珠養殖を始めた頃は、他社の養殖業の手伝いから始めたため、肝心なところは何一つ教えてもらえなかったそうです。見学を申し込んで出かけた他地域の事業者の現場でも、独自の技術をもらさないうえに手元の動きを隠されるといった目に遭っていたようです。それでも、相手の身体のみならず動かすからコツを掴み取って自分のものにしていきました。

真珠養殖の場合、真珠の母貝ぼがいとなるアコヤ貝は、昔は海で採取したものをそのまま用いてきましたが、近代養殖では稚貝の段階から人の





平井正史社長



平井善正会長

手で育てる「人工採苗さいひょう」という技術が用いられるようになっていきます。専門的知識と技術を要するところから同業者のなかでも、人工採苗を行う事業者は限られています。

会長平井善正は、早く安定的に真珠を生産できる人工採苗に当地域でもいち早く目を付け、その導入に挑みました。専門的な知識の習得のために、三重県の水産試験場が作成したレポートを丸暗記するほど読み込んで頭に入れたそうです。

稚貝管理などに関する技術に優れ、全国真珠

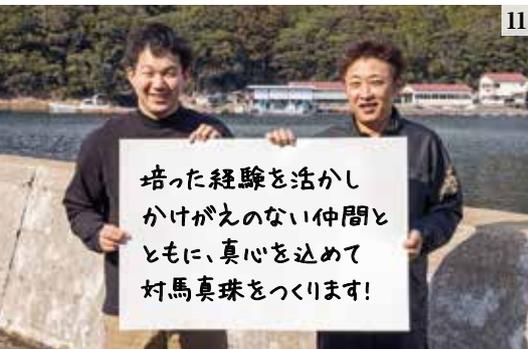
品評会での入賞など、業界での信頼を獲得してきた当社の実績は、自らの仕事に誇りを抱きつつ、相次ぐ困難に果敢に立ち向かってきた姿勢から生まれたものといつてよいでしょう。

「自分さえよければ」では
待ち望む未来はやってこない

当社が真珠養殖事業を始めた当時の業界には、自身の技術が盗まれるのを恐れて他業者からの問いかけに答えることはせず「自分のところさえよければ、それでよい」と考える風潮がそこかしこにありました。なかには、他の生産地が台風に見舞われたことを喜ぶような事業者もいたようです。

しかし、自然環境やあらゆる外的要因と戦っていかねばならない真珠養殖事業者が、足の引つ張り合いをしている時代は、とうに終わっています。むしろこれからは、事業者同士が積極的な力を合わせ、技術を分かち合い情報を共有しながら、世界に向けて「日本の真珠」というブランドの発信力を確かなものにしていかなくてはならない状況にあると思います。

対馬では31年前の1993年に、対馬真珠養殖漁業協同組合に青年部が開設され、頻繁に



11 9

培った経験を活かし
かけがえのない仲間と
ともに、真心を込めて
村馬真珠をつくります!



10



7



8

- 1.対談風景
- 2.美しいリアス式海岸内の養殖場
- 3.養殖場前にて
- 4.採苗貝を間近に見る
- 5.養殖に欠かせないプランクトンの培養
- 6.当社の2年物一級品真珠
- 7.プランクトンを顕微鏡で確認
- 8.雑菌処理を行う採苗貝
- 9.真珠を手に取り、奥深い輝きを実感
- 10.ミネラルが豊富な透き通る対馬の海
- 11.企業メッセージ



平井家邸前にて。左から平井敬斗氏(社長子息)、平井正史社長、平井善正会長、山川頭取、立花支店長(十八親和銀行)

私たちを苦しめるアコヤ貝の大量死を招く原因を探るべく、関係機関と連携して疫学調査や感染実験を始めました。また、貝の生存率と品質および生産性の向上を高める取組みにも乗り出し、成果をあげてきました。

現在、当社は10社程度の仲間とともにひとつのグループを作っていますが、どの事業者とも緊密な連携を保ちつつ、常に情報交換をしながら真珠養殖を進めています。何かあれば集まり、時には会食しながら、他愛ない世間話のように自然に気兼ねなく仕事の話をします。また、それを楽しむ。そうした交流の時間が各自の成長を促すと同時に、地域の真珠養殖業を盛り立てていこうとする連帯感の醸成にもつながっているのかもしれない。

もちろん他県の同業者たちとも、業界全体の成長を目指して、積極的に情報交換を行いながらお互いを高め合っています。

大手事業者と比較して スピーディな決断が強み

当社と同規模の真珠養殖事業者では、人工採苗を行っているところは少ないのが現状です。当社が難度の高い手法を取り入れることができ

ているのは、長い事業歴とともに地道に培った養殖技術を有しているからだと自負しています。

さらに、当社の強みとして挙げられるのが、次の戦略を立てるうえで決断がスピーディーである点です。身の丈に合った養殖規模とコンパクトなグループ形成によって、事業活動のすべてに私の目が行き届くため、予測を立てながら次の展開への準備を同時に行うことができます。組織が大きい大手企業だと中々簡単にはいかないのではないのでしょうか。現場ごとに部署が分かれているため、経営陣による情報の吸い上げに時間がかかるからです。

私たちが手がけている真珠養殖の場合、稚貝の育成から、いわゆる収穫まで数年の月日を要します。ですので、真珠の収穫を終えた段階でようやく次のあれこれを考え始めるようでは事業として成り立たない面があるのです。迅速で的確な経験判断ができる背景には、小回りのきく組織はもとより、積み重ねた経験値、情報収集力が必要だと考えています。

対馬の魅力を発信しながら 地域活性化へ

対馬の主要産業の一つに数えられる真珠養殖

を手がけている以上、今後も次世代へ技術を継承しながら伝統産業を遺していかなければなりません。しかしながら、少子高齢化がますます深刻化する日本では業界の将来を担う人材を探すのが容易ではないのも事実です。特に当地域のようない島ではなおさらです。当社では、働きやすい職場づくり、給与水準や福利厚生面の改善に注力してきましたし、これからも取組みを続けていくつもりです。

また、島内の事業者のなかには、外国人労働者を雇い入れ始めた事業者もあり、当社でもそのような選択肢を検討しているところですよ。

一方で、対馬という島には住民や事業者が支え合ってきた歴史と風土があります。たとえば、長年お世話になっている十八親和銀行さんには苦しい時に支えていただきましたが、その際には、単なる金融機関としての活動を越えて、「地場産業を育てたい」「地域に密着しながら盛り立てていきたい」という意気込みさえ感じられました。

同じように私たちにも、質の高い真珠という地元の魅力を発信することで対馬に貢献したい思いがあります。同業者だけでなく、さまざまな組織と手を携えながら、地域の活性化にも力を尽くしていきます。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



約100年の歴史をもつ対馬の真珠養殖。現在では、島の主要産業の一つとなり、「対馬真珠」の名は広く知られるようになっていきます。なかでも、当社の平井会長は全国真珠連合会の会長を3期務めておられ、社長もまた、島内同業者のリーダー的存在として業界の振興のために尽力されています。

このたびのインタビューでは、これからの真珠養殖、さらには対馬全体の発展についての熱い思いを改めて強く感じました。たゆまぬ努力と技術に裏付けられた素晴らしい対馬真珠。これからもきっと唯一無二の輝きを放ち続けるに違いないでしょう。

Interview

Before After

vol.05

パーラーから一転。 新たな街のシンボルが誕生

店舗と住居、本社を一つに。
好立地を生かした新展開で
新たな活路を見いだす

株式会社 九州エース電研

本社
福岡市中央区薬院
4丁目2番3号
YAKUIN SQUARE801
TEL:092-534-2021



1970年の創業以来、パーラー設備機器の総合メーカーとして様々な新製品を開発・提案。ホール経営にも乗り出し、今日のパーラー・スタイルづくりの一翼を担ってきた。業界全体が縮小傾向の中、本社、パーラーのあった土地を有効活用し、新たな事業に挑戦している。



株式会社 九州エース電研

代表取締役 山田 篤 氏

1982年 福岡市出身
2010年 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社を
経て株式会社九州エース電研に入社
2022年 代表取締役就任



遊技場設備機器企業の 九州進出として創業

九州エース電研は、パチンコ周辺機器の設置販売工事部門とパチンコ店ホール運営を持つ総合メーカーとして歩んできました。

創業者である祖父の山田規雄^{のりお}は長野県大町市の出身で、さまざまな仕事を経て、東京に本社を置く遊技場設備機器の製造・販売の株式会社エース電研に転職しました。パチンコ玉研磨機の開発などを手がけた後、業務拡張に伴い九州エリアを任せられることになり、1970年、



旧社屋（1984年頃撮影）

■昭和の時代にエース級の活躍をした自社開発製品



① サンドイッチ
(玉貸機)



② エースタック
(コンピュータシステム)



③ クリーンマスター
(玉研磨機)

福岡に「株式会社九州エース電研」を創業しました。
最初は福岡市博多区神屋町に本社を置きましたが、祖父がいずれ発展することを見込んで、1984年、福岡市中央区薬院に自社ビルを建て移転。それが現在、本社がある場所です。祖父はこの土地がいずれ活用できることを、この頃から感じていたのだと思います。

業界の拡大とともに成長 パチンコ出店にも進出

事業については、九州には遊技場設備機器の会社がほとんどなかったことから、九州一円のパチンコ店とのネットワークが一気に広がり、順調に販路を拡大します。1980年代にはパ



インタビューに応える山田社長

チンコのフィーバー機の登場、パチスロ機の人気拡大などもあってパチンコ・パチスロ人口は増え続けると同時に、当社の業績も右肩上がりを続けました。

その中で当社の製品のショールーム的な位置付けでホール経営にも乗り出し、1982年福岡市南区に「パチンコ大学（パチンコ店）」を出店、1987年には「Aパーク屋形原店」「Aパーク薬院店」を開店しました。

しかし、1990年代をピークに、レジャー産業の多様化などが進み、さらに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの感染拡大によって来店客数が激減。2018年末に約1万



プロジェクトメンバーの一人である藤村常務

6,000店舗あった全国のパチンコホール数は、2023年末には約7,000店にまで減少しています。

私が入社した2010年頃には、すでに業界の縮小は目に見えていました。当社も設備部門の苦戦が続いており、パチンコそのものが減っていく中で、設備会社同士で「少ないパイを奪い合う」状況が続いていました。

本社のあるパチンコが老朽化 有効活用を福岡銀行の支店に相談

そのような中で浮上したのが、本社がある「Aパーク薬院店」の老朽化による建て替えでした。ホール事業そのものは赤字でしたが、この業界の将来性を考えてパチンコのままで良いのかという課題も抱えていました。

また当社の敷地は本社、パチンコ店舗・立体駐車場、コンビニエンスストアと複数棟が存在し、それぞれの賃貸借先との契約期限も異なるという複雑な事情もありました。建て替えるのか、いっそのこと土地をまるごと貸すのか、自分たちではどうするか結論が出せずに、福岡銀行薬院支店に相談に行ったのです。

FFGビジネスコンサルティング（以下、

■4～7階に入居する「グランダ薬院大通（ベネッセの有料老人ホーム）」



メインダイニング



ティールーム



デッキテラス



居室



浴室



シミュレーションゴルフルーム

FFGBCから公募しました。スクエアという株式会社志賀設計、株式会社大井不動産、SQUARE（以下、薬院スクエア）となりました。この名前は、このプロジェクトに携わった株式会社志賀設計、株式会社大井不動産、FFGBCから公募しました。スクエアという

現在の建物となる決め手となったのは、株式会社ベネッセスタイルケアの有料老人ホームの入居です。このあたりは高級志向の有料老人ホームのニーズが高いこともあり、住宅の一部を転換することで確実な収益が見込めることが大きなポイントになり、プロジェクトが前進しました。実は建物の設計ができあがる前に、この有料老人ホームの入居が決定したことで、それに合わせて設計をしていく形ができたのです。

有料老人ホームの入居でプロジェクトが大きく前進

FFGBC)をご紹介いただき、どのような活用が最も有効なのか、ホテルやオフィスビルなど様々なご提案をいただきました。あらゆる可能性を探りつつマーケット調査をしていたいただいた結果、店舗・住宅系中心の開発で検討が始まったのです。

■薬院スクエアフロア構成図



名前が、土地が四角であること、一つの街を思わせるような名前が非常にこの建物に合っていると感じ、会長である山田久雄ひさおが最終的には決まりました。

大通りに面した建物は、正面に博多織をモチーフにしたレリーフがあり、より重厚感を高めています。建物の構成は、1階は調剤薬局を併設し、生鮮食品も扱う大型のツルハドラッグ薬院店、有料老人ホームの送迎用を兼ねたエントランスホール、その隣に住居用と当社用のエントランスと3つの機能に分かれています。

2・3階は自走式駐車場が56台分、4～7階はベネッセスタイルケアの有料老人ホーム「グランダ薬院大通」56戸、8～12階は地元の大井不

動産が管理する賃貸住宅65戸、そのうち8階の一角が当社の本社となっています。

住居部分の間取りは、1R、1LDK、2LDK、3LDKと単身からファミリーまで幅広く対応しています。当初は単身向けだけと考えていましたが、大井不動産からファミリーの需要もあるとのアドバイスを受け、設計を変更しました。実際にファミリー向けは問い合わせがすぐにあり、いち早く入居が決定しました。

住居部分は入居者目線で 利便性高く完成前に満室

内装や住宅設備などについては、今回の設計を担当した志賀設計、大井不動産、FFGBCの女性担当者が中心となって、議論を繰り広げました。ちょっとした吊り戸棚を設置したり、使い勝手の良い水回りにしたりするなど、機能性を重視した造りを採用しています。

さらに本来は1階にある駐輪場を各階に設置、8階にはトランクルームも設置しています。このトランクルームの横には広い共有スペースがあります。まだ用途を決めていないのですが、ペット可物件ですのでドッグランなどを作ってもよいかと、いろいろ構想を巡らせています。

■8～12階 賃貸住宅



洗面所



キッチン



単身～家族向け様々なバリエーションの居住スペース



ベランダに水道を設置。観葉植物の水やりやペットのお世話にぴったり



お洒落な壁紙のトイレ



浴室



入居者用のトランクルームを8Fに設置



各フロアに駐輪スペースを設ける



住宅フロア



広々とした新オフィス



1階 会議室兼レンタルルーム

8階以上に住居があるため眺望がよく、各戸のベランダも広めのスペースを確保。ベランダ専用の水道も付けているので、ガーデニングも楽しめます。また1階には、ペットがエントランスの床などを汚すことがないよう、専用の足洗い場も設置しました。

これら仕様に加えて1階にはドラッグストア、すぐ隣にはコンビニエンスストアという利便性、バス停や地下鉄、大型スーパーまでも徒歩です

ぐです。天神方面へも博多駅方面にもアクセスしやすいという立地条件が魅力となり、完成前に満室となり、私たちも驚きました。

落ち着いた雰囲気の本社 1階にはレンタルルームも

私たちの要望は、住居部分は入居者が安く利用

できる都市ガスにすること、全体としてこの薬院の街に溶け込む落ち着いた雰囲気であることでした。本社の内装も、全体と同じく落ち着いた色調になっています。営業や施工部門は筑紫野市原田になりますので、新本社は役員室と総務、経理部門のみになっています。

社長室はオープンな雰囲気を大切に、仕切りには状況によってスモークがかけられる調光ガラスを使用しました。社員のチェアは長時間の作業でも疲れないようゲーミングチェアタイプとなっています。

入り口は住居用エントランスと共用になります。その1階には、当社の会議室兼レンタルルームを備えました。コロナ禍を経てリモートでの働き方が広がる中で、会議や打ち合わせ用として地域の方に広く活用してもらえたらと思っています。

2・3階の駐車場は、立体駐車場が多いこの辺りでは珍しい自走式です。住居者用とと思っていましたが、都心では車を持っている方のほうが少なく、以前のパーラーの駐車場もほとんどが月極でしたので、今回の駐車場も月極で広く募集しようと思っています。入り口は渋滞しがちな大通りを避け、裏手のほうに備えていますので、朝の忙しい時間もスムーズに出入りできるかと思っています。

立地の良さを生かした 新しい事業展開で次の時代へ

建て替えに当たっては、「Aパーク薬院店」を閉店することになり、多くの反響をいただきました。2021年5月の閉店時には以前通っていたお客さまが「懐かしい」と駆けつけてくださり、長年愛されてきたお店であったことを改めて実感しました。

現在ホール運営は、「Aパーク屋形原店」「Aパーク春日店」の2店舗のみですが、どちらも収益が見込めていますので、このまま存続していく方針です。



1階「ツルハドラッグ」。調剤薬局も併設



■薬院スクエア所在地

住所:福岡市中央区薬院4丁目2番3号

交通:福岡市地下鉄「薬院大通駅」より徒歩3分
西鉄天神大牟田線「薬院駅」より徒歩8分

建設中、本社もしばらくは筑紫野市原田の営業本部のほうに移転することになりました。移転から完成までに足掛け3年ほど掛かり、その間、社員には通勤で不便を掛けましたが、「きつと素晴らしいオフィスができてくれるから」と説得し続けました。その社員たちも、今では新しいオフィスに喜んでくれています。

今回は私たちが所有していた敷地が福岡市の中心部の人気エリアだったからこそ、このプロジェクトが実現したかと思えます。パーラーからの転換で、街の雰囲気そのものも大きく変わり、1階に大型ドラッグストアであるツルハドラッグが開店したことで近隣の方から「便利になった」とお声をいただくこともあります。

景気低迷やレジャーの多様化などで業界全体が厳しい上、大手チェーン店の出店攻勢に押され中小規模のパチンコ店の存続は非常に難しくなっており、同業者から、相談を持ちかけられることがあります。私たちのこの挑戦が一つの方向性を示すことができたのであれば幸いです。

プロジェクトの歩み

年月	イベント
2017年12月	福岡銀行薬院支店に賃貸物件の契約更新に関して相談
2018年3月	薬院支店がFFGビジネスコンサルティング(以下、FFGBC)を紹介
2018年6月	FFGBCによるコンサルティング開始
2020年1月	有料老人ホームの事業者選定開始
3月	有料老人ホーム運営事業者がベネッセスタイルケアに決定
6月	管理会社に大井不動産、設計会社に志賀設計を選定
10月	オーナー、志賀設計、大井不動産、ベネッセスタイルケア、FFGBCによる建物設計キックオフミーティング実施
2021年6月	1階店舗にツルハドラッグを選定
2022年1月	関係者による建物名コンペを経て「薬院スクエア」に決定
3月	建設着工
2023年11月	薬院スクエア竣工

今回の「薬院スクエア」計画を振り返って

ご相談いただいたきっかけ

薬院スクエア建設前は、九州エース電研本社、パーラー店舗・立体駐車場、コンビニエンスストアと敷地の中に複数棟が存在し、かつ賃貸借先との契約期限が異なっていました。今回、自社建物の老朽化が進む中で、賃貸物件の期限が迫ってきた事を契機に敷地全体の開発検討が始まり、福岡銀行薬院支店へのご相談があったことから弊社のコンサルティングがスタートしました。

施設構成検討・事業者選定支援

施設構成を検討するにあたり、ホテルや事務所等の可能性も踏まえて幅広くマーケット調査を行った結果、店舗・住宅系中心の開発とする事で検討を開始しました。その中で有料老人ホームの強いニーズが確認できたことから、住宅の一部を転換する事で安定収益の確保及び住宅戸数の適正化を実現しており、その点が、オーナーが事業の実施判断を行う上での大きなポイントとなりました。賃貸先となる運営事業者を決定するうえで、弊社が複数事業者へのヒアリングや各社提案書の分析・報告等を実施し、最終的にオーナーがベネッセスタイルケア様を採用することを決定されています。

建物の施設構成は、1階が店舗、2・3階が自走式駐車場、4階～7階が有料老人ホーム、8階～12階が賃貸住宅とする事で方針が決まりました。

その後、設計者と施工者の選定支援を経て事業推進の役割を設計者・施工者へバトンタッチし、弊社は設計完了時点までコンサルティングとして関与させていただきました。

1階店舗

1階は各施設の出入り口や全体の共用、供給処理施設、駐車場出入口等が複層し最も調整が必要な部分でした。190坪の店舗規模を確保できたのは、オーナーのご英断にほかなりません。駐車場入口の分り易さを優先すると店舗スペースが減少するため、「駐車場は特定の利用者にサービスできれば良い」とのご判断により出入口は後方としました。その結果、十分な店舗面積が確保でき、テナントの選択肢が広がるとともに、より収益性の高い計画となりました。

自走式駐車場

施設に付属する駐車場は、維持管理コストやメンテナンス性を考慮し、2層の自走式立体駐車場となりました。機械式タワー型と比較して利便性も高いことから、賃貸住宅の入居付けにも貢献しています。

有料老人ホーム

ベネッセスタイルケア様の主な要望は、他施設との動線分離とセキュリティ計画、駐車場確保、バルコニーからの2方

向避難ルート等の安全確保でした。同時に感染防止対策のために専用階段が必須とされ、他の施設との配置調整に時間を要しましたが、それだけトップブランドとしての経験を生かした安心感とグレードを大事にされる姿勢を感じました。

賃貸住宅

8階～12階は有料老人ホームと並び主要収益を担う賃貸住宅です。専用部分は志賀設計、大井不動産、弊社の各当事者が中心となり、間取りや住宅設備の仕様、細部の検討を議論し商品化しています。各人がそれぞれの立場からアイデアを出し合い、最適解を追い求め続けた事が建物竣工時点で満室という結果に結びついていると思います。

全体の設備計画と維持管理

1階店舗の床下は一部ピット床を採用、レイアウトの可変性や管理のし易さに配慮しています。賃貸住宅の熱源は都市ガス、有料老人ホームは電気としています。また、キュービクル設備や受水槽は有料老人ホームとその他の施設とは分離し、維持管理区分の明確化を図っています。

最後に

複合施設は各施設の独立性と全体管理のし易さの両立が難しく、全体調整に苦勞する面もありました。しかし、関係する皆様の熱意や積極性から闊達な意見交換が行われた結果、最終的にオーナーにとってより良い建物が出来上がったのではないかと思います。非常にやりがいのあるプロジェクトにコンサルタントという立場で参加させていただいたことを光栄に思います。



Interview

今回の担当

FFG ビジネスコンサルティング
不動産ソリューション部

副部長 大隈 剛

お問い合わせ

株式会社 FFG ビジネスコンサルティング 不動産ソリューション部
福岡市中央区大手門1丁目8番3号 FFG 本社ビル
TEL. 092-723-2372

不動産鑑定士や一級建築士等の資格を保有し、豊富な経験を持つスタッフが、貴社が抱える様々なニーズに対応します。

(右写真)不動産ソリューション部メンバー(左から田嶋主任調査役、大隈副部長、小谷主任調査役)
※小谷主任調査役は今回のプロジェクトメンバー



Topics of the month

台湾にてスタートアップイベント 「ベンチャープラザ in 台湾 Plus」を 開催しました。

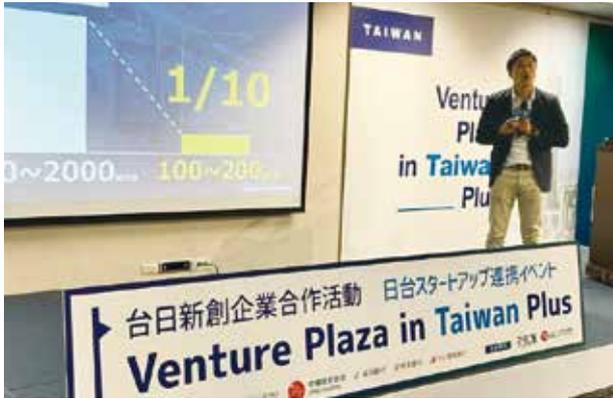
FFGは、業務提携先で台湾民間最大手金融機関の中国信託フィナンシャルホールディング(以下、CTBCFH)との共催で、2023年12月6日(水)に台湾・台北市において、九州のスタートアップやその事業環境などを紹介するイベント「ベンチャープラザ in 台湾 Plus」を開催しました。



登壇企業と来場者の集合写真

半導体世界大手であるTSMC(台湾積体回路製造)の熊本進出決定を契機に、半導体だけでなく幅広い分野で、九州と台湾のビジネス拡大の動きが期待されています。そうした中、FFGでは、地域経済の活性化や、九州や台湾のお客さまへのサポートをより一層密にしていくため、CTBCFHと福岡銀行が行っていた業務提携を、2022年12月にFFGとの業務提携へと枠組みを拡大し連携を強化しています。

連携強化施策の第一弾として、2023年3月に、熊本にて半導体や台湾に関するセミナー「台湾ビジネスセミナー in 熊本」を開催しました。今般、第二弾として、新たなビジネスを創造することで九州と台湾間の産業活性化に貢献するため、九州のスタートアップと台湾の地場企業・ベンチャーキャピタルなどのマッチングの場を提供するイベント「ベン



事業紹介プレゼンテーション



ネットワーキング

「チャープラザ in 台湾 Plus」を開催しました。

本イベントは、九州のスタートアップ6社による事業紹介プレゼンテーションと来場者とのネットワーキング、ならびに福岡を拠点とするベンチャーキャピタルであるGxPartners LLPの代表パートナーである岸原氏による「福岡のスタートアップエコシステムと台湾との連携可能性」をテー

マとしたセミナーの2部構成で開催しました。

台北世界貿易センターにて開催しましたが、台湾のベンチャーキャピタルやアクセラレーター、金融機関など、100名を超える来場者により満席となるなど、台湾での九州のスタートアップへの関心の高さがうかがえました。事業紹介プレゼンテーションにおいては、登壇企業の熱気に満ち

たプレゼンテーションが行われるとともに、ネットワーキングでは名刺交換だけでなく、具体的な連携に関する意見交換などが活発に行われました。

登壇企業からは、「今後の事業展開において、新しい挑戦へのきっかけを作ることができた。」「初めて台湾を訪問したが、イベント参加を通じて台湾での自社のビジネスに対するニーズを実感した。今回面談した企業と台湾進出における現地パートナー候補として本格的な協議を開始している。」「台湾に可能性を感じて台北市内の coworking space への入居を決定した。」などの声が寄せられました。

FFGは、今後もお客さまの海外ビジネスにおける事業拡大のサポートを通じて、お客さまの価値向上、地域経済の発展に貢献します。

■ 事業紹介プレゼンテーション登壇企業

(順不同)

企業名	所在地	事業内容
株式会社ACCELStars	久留米市	睡眠測定システムの提供
anect株式会社	福岡市	モバイルアプリの開発・プラットフォームの提供
株式会社サーモンテック	熊本市	医用超音波診断装置の開発
Tooon株式会社	熊本市	フリーランス向け業務管理ツールの提供
株式会社Laplust	長崎市	AIを活用した作業管理システムの開発
Liaison Design株式会社	長崎市	介護従事者向けアプリの提供



GxPartners LLP岸原氏によるセミナー

地域とつながる FFG連携プロジェクト

福岡県
福岡市

熊本県
菊陽町



私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、「地域の事業者と連携した一次製品のブランディングの取組み」「地域の事業者と連携した福岡県の魅力発信に向けた取組み」「熊本県菊陽町の物産展」についてご紹介いたします。

福岡市内産農産物のブランド構築に向けたプロジェクト始動！

福岡市では、福岡市内産の農産物消費拡大・地産地消を推進しており、その中で、農産物の魅力がまだ消費者に十分に知られていないという課題解決の一つとして、新たなブランド創出を目指し「福岡市内産農産物ポテンシャル調査業務」を実施。FFGグループ企業であるiBankマーケティングを主体とした提案が採択されたことから、福岡銀行地域共創部ではiBankマーケティングと連携し、本プロジェクトに取り組むこととなりました。

本プロジェクトでは、農産物の「ブランドストーリー」を仕立てるべく、あまり知られていない特徴・食べ方・背景にある生産者の想い等を引き出し、消費拡大につなげるための調査や効果的な手法の検討を実施しました。iBankマーケティングでは、銀行公式アプリ「Wallet+」のアンケート機能を用いた消費者のニーズ調査なども行いました。

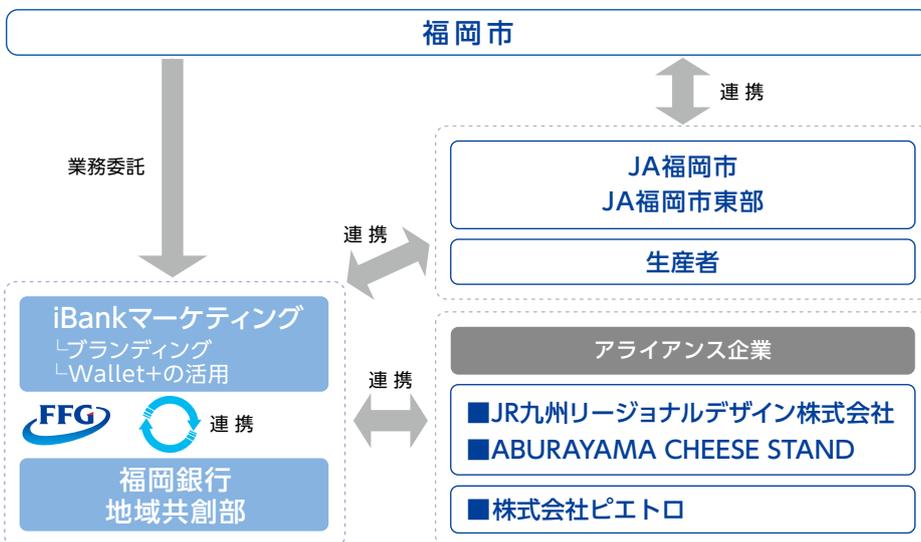
また、農業協同組合とも連携し、生産者のもとを訪問しヒアリングを実施。農産物の魅力や栽培のこだわりだけでなく、福岡の食文化を支える存在でありながら、市民にも十分に認知されていないという生の声をお聞きしました。

今回はブランド構築に向けた初年度の取組みとして、「博多しゅんぎく」・「箱崎小町(青ねぎ)」・「元岡トマト」・「博多かぶ」にフォーカスし、まずは認知拡大を図るために、本プロジェクトの趣旨に賛

同を頂いた地元事業者と連携し、市内飲食店において期間限定メニューを販売しました。

第一弾はJR九州リージョナルデザイン株式会社と連携し、リニューアルで注目を集めるABURAYAMA FUKUOKA^{アフラヤマ}とあるCHEESE STAND^{チーズ}と2023年10月〜12月にかけて、主力

■事業スキーム図





商品であるチーズと掛け合わせたメニューを展開しました。第二弾は株式会社ピエトロ(以下、ピエトロ)と連携し、市内3店舗において、オリジナルメニューやピエトロの代表的なメニューと、福岡市内産農産物のコラボを実施しました。生産者と地元事業者等が連携し、農産物の魅力を引き出したメニューを展開することで、多くの方に福岡市で採れたおいしい農産物を味わっていただきました。

今後も福岡銀行では、FFGが持つ多角的なりソースを活用しながら、地元事業者等との連携・協業を通じて、地域の課題解決・活性化につながる取組みを推進してまいります。

ピエトロ本店 セントラール



ABURAYAMA CHEESE STAND



福岡銀行 地域共創部 小鶴(中央)
iBankマーケティング 今川(左)、田代(右)
【お問い合わせ】092-723-2254



福岡市内産農産物の生産者



「麴町なだ万 福岡別邸」を活用した福岡県の魅力発信イベント開催！
 ～福岡県の食、伝統工芸品、観光情報、歴史・文化を全国へ～



八女茶の魅力について語る株式会社木屋芳友園の木屋社長



茶葉と岩塩を合わせた一品



木屋社長考案「八女茶スパークリング」

福岡県は、県内の多様な魅力を首都圏に発信する拠点であるアンテナレストラン「麴町なだ万 福岡別邸」(以下、なだ万)において、食事と文化体験等のワークショップをセットにしたイベントを定期的に開催しており、観光情報やレストランの情報を発信するなど、魅力を効果的にPRすることで、福岡県への誘客促進を図っています。今回は、2024年4月から実施される「福岡・大分デステイネーションキャンペーン(※1)」を見据え、福岡の食、伝統工芸品、観光情報、歴史・文化などをテーマに「麴町なだ万 福岡別邸」を活用した福岡県への誘客促進を図るための魅力発信業務に係

る委託事業を実施。この事業について、東京のマーケティングソリューション事業者である株式会社Ben^{ベニユウ}nuと協業して取組むこととなりました。本イベントは、旅行・グルメ系を中心としたインフルエンサーや、メディア関係者、旅行関係者を対象としたイベントであるため、若年層やインバウンド旅行者に対して大きな影響力が期待されます。FFGでは、営業店と連携し、取引先でもある地域事業者にも参画いただくことで地域の魅力発信のみならず、事業者PRや商材のプロモーションの機会創出を図りました。2023年12月に実施したイベントでは、久留米餅や八女茶、ブランド柿



「秋王(※2)」を提供。久留米餅の着付け体験をはじめ、八女茶スパークリングの試飲、茶葉の試食など、八女茶の新しい楽しみ方と魅力について体感していただきました。八女茶スパークリングは、日本に36人しかいないとされている日本茶鑑定士の1人である株式会社木屋芳友園きやほうゆうえんの木屋社長自らご提供いただきました。また、秋王においては、生果およびなだ万とコラボした特別メニューを提供。化学肥料を使用しない農法栽培で独自ブランドを展開されているのうえ農園の井上社長に秋王の特徴やお土産品として提供した「冷蔵秋王」の製造秘話についてもお話いただきました。

商品の提供だけでなく、体験や地元事業者とのコミュニケーションを通してストーリーを知っていただく機会となり、来場者からは「福岡でしか味わえない高付加価値な体験をもっと多くの方に知ってもらいたい」とのお声をいただき、SNS等で広く発信していただくなど、福岡県の魅力および地域事業者のプロモーションにつながる取組みとなりました。

今後もFFGでは、福岡県や地方自治体とともに地域の課題解決・活性化につながる取組みやお取引先の業績に貢献する取組み(本業支援)を推進してまいります。

(※1) 福岡・大分デスティネーションキャンペーン

JRグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーン。2024年4月~6月に「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」が開催予定。

(※2) 秋王

2001年に福岡県が育成を開始し、2012年に品種登録された柿の品種。糖度が高くサクサクした食感で大変美味しく、きれいな橙赤色で、種がほとんどないという優れた特徴があり、その名のとおりに「秋の王様」の柿。



なだ万特別メニュー「秋王アイスと秋王レアチーズケーキ」



秋王への熱い想いを語るのうえ農園の井上社長



福岡銀行地域共創部 山下
【お問い合わせ】092-723-2254



麹町なだ万 福岡別邸

東京都千代田区麹町1-12-1
住友不動産ふくおか
半蔵門ビル1階



「菊陽町物産展」をふくぎん本店広場で開催！



当日大盛況のイベント会場



左から菊陽町 吉本町長、野村頭取(熊本銀行)

2021年11月、台湾の半導体受託製造大手 TSMCの熊本県菊陽町進出が決定して以降、菊陽町周辺は国内のみならず世界中から注目を集めています。

菊陽町と熊本銀行は、半導体企業をはじめとした企業誘致支援や、地域産業の振興、地域産品の販路拡大等、持続的な地域経済の発展に寄与することを目的に、2023年1月に「包括連携協定」を締結しました。



菊陽町物産展 in ふくぎん本店広場チラン



左:FFGブランドキャラクター「ユーモ」、右:菊陽町マスコットキャラクター「キャロッピー」



熊本銀行の行員も菊陽町の方と一緒に農産物をPRしました

その協定の一環として、2023年11月25日(土) 菊陽産農産物のPRを目的とした「菊陽町物産展」をふくぎん本店広場で開催しました。東には阿蘇の山々、中心部には一級河川の白川が流れる等、豊かな自然に育まれた農産物が多く生産されており、昔から農産業が盛んな町です。そこで、昔からの町の基幹産業である農産業の振興や知名度の向上、販路拡大等の支援を行うため、町役場職員や地元事業者と連携し、本物産展を開催しました。当日は、特産の人参をはじめとする新鮮な野菜や農産加工品の販売、菊陽産紅はるかの焼き芋の実演販売などを行い、多くのお客様にご来場いただき

きました。来場したお客様からは、「台湾の半導体企業が進出する町だよな。こんなに新鮮な野菜がとれるのか。購入できてよかった」や「次回もぜひ開催してほしい」などの嬉しいお言葉をいただきました。再来場して追加購入されたお客様もいらっしゃるなど、ほとんどの商品が完売となり、菊陽産農産物のPRに寄与する取組みになりました。熊本銀行では、今後も包括連携協定の枠組みを活用し、半導体関連企業の誘致や町の産業振興等まちづくりに関する様々な取組みをFFG一体となつて支援していきます。



熊本銀行ソリューション営業部
左から金森、西田、小野
【お問い合わせ】096-385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

お取引先の社会貢献活動を
紹介するコーナーです



協和商工株式会社

「より良い人と食を、守り育てる」を理念に掲げ、カンボジアへの
学校寄贈や現地での文化交流活動、フードバンク事業に取り組まれています



協和商工学校の寄贈式

2023年6月に創業70周年を迎えた、長崎県佐世保市に本社を構える協和商工株式会社。約2万点の商品を取り扱い、地域の学校や飲食店、病院、福祉施設などに食品を届ける業務用食品の卸企業です。1953年に油脂工場として始まった同社は、現在では長崎県内はもとより佐賀県や福岡県などにも事業所を置き、長年地域の食を支え続けられています。また、長崎県内で展開する業務用卸スーパー「ホットライン」の運営や展示会、商談会の定期的な開催など、食に関する最先端の情報を広く発信されています。

さらに、「より良い人と食を、守り育てる」という同社の理念のもと、社会貢献活動にも積極的に取り組まれています。

子どもたちに教育の機会を カンボジアに学校を寄贈

同社の加城一成社長は、戦後の日本に米を供給してくれたカンボジアに恩返しをしたいと思

いから、創立55周年記念事業としてカンボジアに小学校の寄贈を決定。カンボジア西部のプルサット県バカン群に「協和商工学校」を建設し、2009年に寄贈式を行いました。その後も計7回、合計で60名程度の社員を現地に派遣して文化交流を行うなど、小学校の寄贈後も継続した支援を続けられています。

派遣される社員の方々は、交流授業のプログラムを約3か月間かけて考え、社内ではプレゼンテーションを実施するなど、検討を重ねたうえで現地を訪問します。

加城社長は、「カンボジアの子どもたちに教育の機会を提供すると同時に、社員たちにとってもグローバルな視点を養い、心の成長につながる貴重な機会になっている。いつの日か協和商工学



交流授業の様子

校の卒業生と、日本で一緒に働ける日がくることを楽しみにしている」として、コロナ禍が落ち着いたことで、来年度以降現地で文化交流が再開される予定です。

本業を最大限に活かして フードバンクを設立

同社は、食品卸業を営む中でフードロスの削減に取り組んでいます。それでも賞味期限が近い、保管場所が足りないなどのさまざまな事情により、年間500〜600万円分もの食品を廃棄せざるを得ない状況でした。まだ食べられるのに廃棄される食品を少しでも減らしたいと、加城敬三専務が代表理事となり2016年に「一般社団法人フードバンク協和」を設立されました。

同法人は、フードバンクの設立にあたりインター



支援準備の様子



十八親和ふるさと振興基金の贈呈の様子
山川理事長から助成金が渡された
(出所:十八親和ふるさと振興基金事務局)



右から加城一成社長、加城敬三専務

ネットを使った独自のシステムを開発。廃棄される食品を「もったいない食材」と称して専用ページに公開し、子ども食堂や社会福祉施設などの支援先が食材を選んで必要な時に同社の倉庫に取りに来る仕組みです。このシステムにより支援を必要としている団体に効率よく食品を届けることが可能となり、現在では約100の団体が登録しています。

さらに、同社は病院向けの非常食も販売しており、賞味期限が近づいた非常食を引き取り、再度購入してもらうという循環の流れもできつつあると言います。今後も、「もったいないからおいしいへの架け橋」を目指し、同社の長崎県外の拠点にも順次フードバンクの事業を広げていかれる予定です。これからも協和商工株式会社は、地域の食を支え続けながら社会貢献活動に取り組んでいきます。

企業概要 協和商工株式会社



- 創 業** 1953年6月
- 所在地(本社)** 長崎県佐世保市白岳町151番地
- 事業所** 佐世保支店、長崎支店、佐賀支店、宮崎営業所、熊本営業所、福岡営業所、ホットライン長崎店、一般社団法人フードバンク協和
- 資本金** 2,500万円
- 従業員数** 210名
- 事業内容** 総合卸商社、業務用食品全般(冷凍食品・一般食品・乾物・缶詰類・調味料・その他)、業務用食材現金卸(C&C)店舗、工業薬品、合成樹脂、保温保冷材
- 取引店** 十八親和銀行佐世保支店、福岡銀行佐世保支店



協和商工株式会社
ホームページ



一般社団法人
フードバンク協和
ホームページ

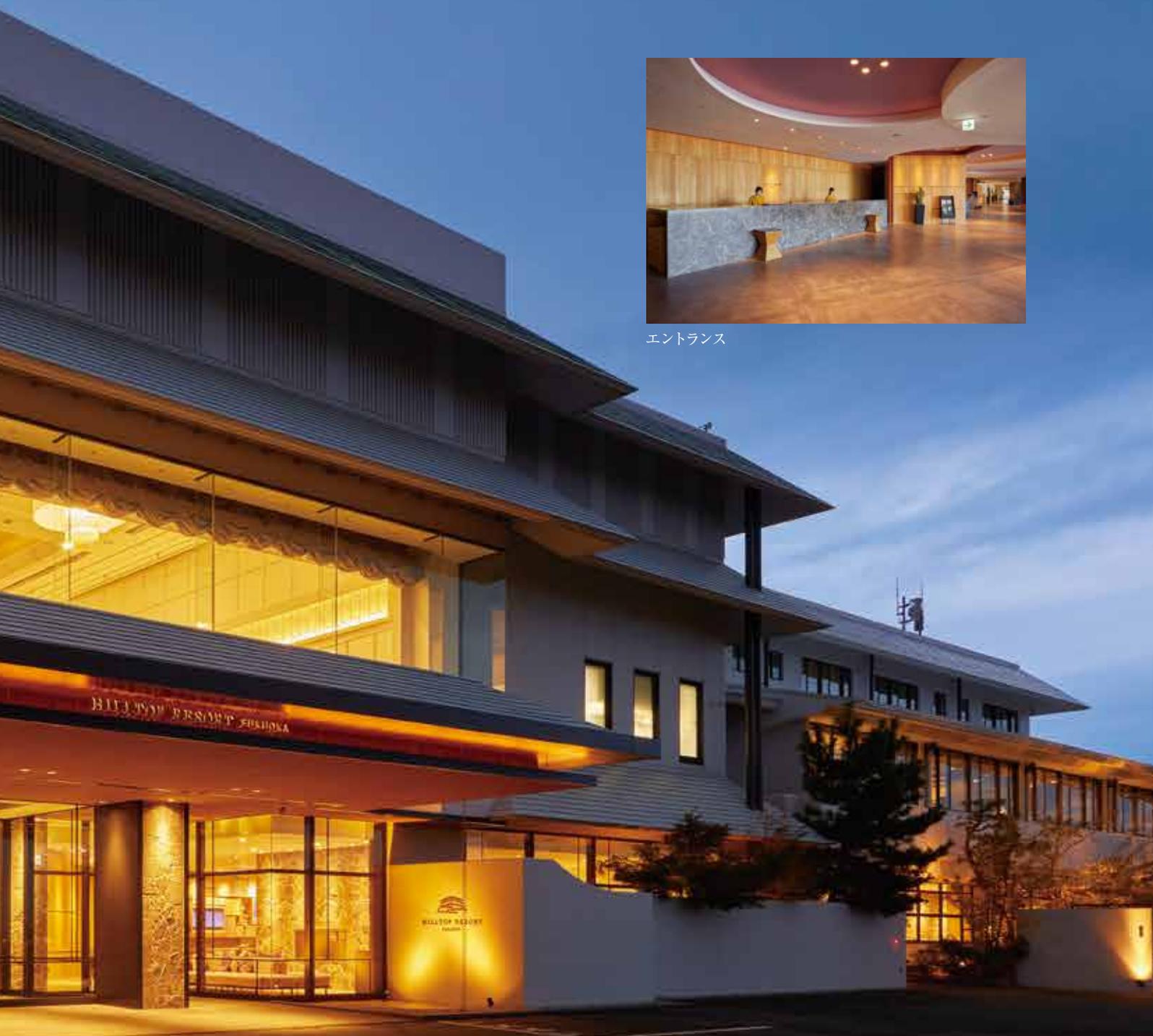
HILLTOP RESORT FUKUOKA

2023.11.1 Wed Rebrand Open

前身は1967年創業と福岡市内のシティホテルで最も長い歴史を有する「旧福岡山の上ホテル」。福岡市中央区の高台に位置し、豊かな自然環境と素晴らしい眺望を楽しめる施設として市民から愛されてきた。社会情勢の変化などの困難も、地元経済界の支援を受け伝統を守り続ける。2013年には「アゴーラ福岡山の上ホテル&スパ」としてリブランドオープン。10周年を機に、街のシンボルであり続ける決意と常に



エントランス



進化し続ける意思を示すため、改めて
ヒルトツツエ リゾート フクオカ
「HILTOP RESORT FUKUOKA」を
してリブランドオープンを迎えた。





鮨・日本料理「暦」

職人の技が織りなす鮨と日本料理の世界。季節の節目を表す二十四節気を基に、九州を中心に日本各地の旬の素材を使用した鮨と日本料理を提供する鮨・日本料理「暦」。食事を通して季節の移り変わりを楽しむことができる。個室も有し、接待はもちろん、長寿のお祝い、顔合わせ、結納など幅広い用途に合わせての利用も可能。

営業時間 ランチ 11:30 ~ 14:30 (L.O. 14:00)
ディナー 17:30 ~ 21:00 (L.O. 20:00)

価格帯 ランチ (コース) 5,000円 (税込)
ディナー (コース) 9,900円 ~ (税別)

席数 カウンター 6席
テーブル 32席
個室 (室料5,500円) 8席



鮨・日本料理「暦」料理長

嶋田 大輔氏 Daisuke Shimada

2022年、アゴーラ福岡山の上ホテル&スパの日本料理「暦」料理長に就任。鮨職人として、素材の美味しさを最大限に引き出すことを第一に捉え、シャリの風味や薬味、調味料といった「香り」や、「シンプル」に調理することを大切にしている。



HILLTOP DINING



「“La Festa Italiana on the HILLTOP” 正統派イタリアンの風が紡ぐ、山の上のフェスタ」をコンセプトに イタリア料理を提供するメインダイニング《ラクチーナ イタリアーナ・ヒルトップダイニング》をオープン。仔羊のグリルをはじめ、ピアヴェチーズを使ったトリュフカルボナーラなどの正統派イタリア料理を楽しむことができる。

営業時間 朝食 7:00～10:00 (L.O. 9:30)
 ランチ 11:30～15:00 (L.O. 14:30)
 デイナー 17:30～22:00 (L.O. 21:30)

価格帯 (税込) ランチ 【イル・オルトラーナ】
 サラダビュッフェ+選べるメイン
 (大人) 3,900円
 (小学生) 2,000円
 (小人) 1,500円
 (幼児) 0円

※小人 (3歳以上～5歳以下) ※幼児 (3歳未満)

ディナー
 トリュフカルボナーラ 2,800円
 仔羊、九州産の鶏や豚の炭火焼 2,800円～
 その他、600円～アラカルトでご用意。

席数 90席

HILLTOP DINING 料理長

石橋 昌大氏 Masahiro Ishibashi

シンプルなパスタを得意とし、九州産の食材を使用したフレンチからイタリアンまで幅広く洋食全般に取り組む。自らの感性を活かしつつも歴史や伝統への敬意を忘れず、料理の基本でもある伝統的な調理法を日々研究。



Stay

宿泊



Area F

福岡の空と街を一望する自然豊かなロケーションを最大限に生かしたアイコン的なコンセプトルーム。

Area W

「Wellness」の頭文字からダブリューと銘打った同エリア。より健康かつ美しさを追求することをコンセプトとした客室。



Standard

「静」のコンセプトを体感できる6つのタイプ部屋は、親しい仲間との旅行や出張、長期滞在など様々なシーンで気軽に利用が可能。



HILLTOP RESORT FUKUOKA

ロゴには、福岡随一、自然豊かな街を一望する絶好のロケーションと街のシンボルであり続けるという、未来への決意が込められている。

【概要】

施設名	ヒルトップリゾート 福岡
所在地	福岡市中央区輝国1-1-33
開業日	2023年11月1日(水)
客室数	46室
階数	地上3階 地下3階
駐車場	43台
営業施設	スパ施設「ヒルトップスパ」 鮎・日本料理「暦（こよみ）」 「ガーデンレストラン k」 「HILLTOP DINING」 ライブラリー ショップ フィットネスルーム 天然温水大浴場 「Hilltop Resort YAMANOUE」 (婚礼・バンケットホール)
運営会社	株式会社 C&G Value Design 福岡
ホームページ	https://hilltopresort-fukuoka.com/



【株式会社C&G Value Design 福岡について】

株式会社C&G Value DesignとともにCCGアライアンスを担い、ホテル・旅館・飲食店の経営、運営受託及び企画開発を行っている。グループの運営施設は「HILLTOP RESORT FUKUOKA」、「古湯温泉 ONCRI/おんくり」、「イノベティブ・フレンチ ワタハン by Furuyu Onsen ONCRI」、「ストロベリーガーデン」、「むなかた茶愉」。

本社所在地	福岡市中央区輝国1-1-33
取締役社長	副島 和昌 氏
事業内容	アライアンス事業 ホテル・旅館・飲食店の経営・再生・運営受託事業 デューデリジェンス及び再生事業、 リポジショニング・リブランディングの企画立案
ホームページ	https://cg-valuedesign.com/



New Knows Old

和と洋が調和した客室。ウッドデッキからは風を感じながら夜景を楽しめる。

リブランドで「日本のモダニズムが調和する、懐かしくも新しい“ちょうど良い”空間」をコンセプトとする新客室《New Knows Old》がオープン。

客室タイプは、滞在目的に合わせて選べるシングル、ツイン、トリプル、グループ向けの和室まで、多彩な選択ができる。

Topics of the month

「第11期FFG次世代経営塾」を閉講

2023年11月28日(火)、大名カンファレンスにおいて、「第11期FFG次世代経営塾」を閉講いたしました。

「FFG次世代経営塾」はFFGの福岡、熊本、十八親和銀行のお取引先企業の経営者や後継者、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と、経営者同士の人的ネットワークの構築を目的としたビジネススクールです。2023年8月から4カ月間、学びの場と参加メンバー同士や講師との交流・情報交換ができる場を提供してまいりました。

最終回は、オフィスPDCA代表 かばたよしゆき 蒲田善行氏に「組織マネジメント」というテーマで、経営者として必要な組織全体のマネジメントについてお話をいただきました。一流の講師陣によるセミナー全6回を終え、受講生からも「弊社でも大きな課題として促している内容であり、分かり易く有益であった」、「異業種であっても共通の課題があり勉強になりました」、「経営における重要なコンテンツばかりで非常に有益な経験

となりました。社内にて実践に移していきたいと思えます」など、セミナーの内容を企業成長に役立てていくというコメントをいただきました。

閉講にあたり、福岡銀行営業統括部 佐々木部長は受講生に向けて、本塾で学ばれたことと築いたネットワークを活かし、優れたリーダーとして企業を発展させていく



第6回次世代経営塾講義の様子



ザ・リッツ・カールトン福岡での懇親会



蒲田善行氏



福岡銀行 佐々木部長による閉講挨拶

ことへの期待感を示しました。
 講義後の懇親会はザ・リッツ・カールトン福岡で開催し、講師の蒲田氏をはじめ、各行の営業統括部長、本部門員その他、各取引店長や担当行員も参加し、業種、県域を越えた交流で親睦を深めていただきました。受講生同士の親密な関係性が感じられる中、懇親

会の最後には受講生代表からお言葉をいただき、第11期FFG次世代経営塾が閉講しました。
 ふくおかフィナンシャルグループは、将来を担う地元経営者や経営幹部の方々のために有益な情報、サービスの提供を継続するため、来年度も第12期FFG次世代経営塾を開催する予定です。

2023年第11期FFG次世代経営塾 開催概要

日程	テーマ	内容	講師
第1回：8月1日	人を動かす経営	人を動かすことについて 経営者として必要な視点を学ぶ	CNGWAY パートナー カーネギー 石原 由一郎 氏
第2回：8月24日	人材マネジメント	人材育成において、経営が果たす 役割について学ぶ	NEC チーフ・ダイバーシティ・オフィサー 佐藤 千佳 氏
第3回：9月14日	リーダーシップ	経営に求められるリーダーシップに ついて学ぶ	日本生産性本部主席 経営コンサルタント 中間 弘和 氏
第4回：10月5日	コンプライアンス	コンプライアンスの最新動向を学ぶ	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 深水 大輔 氏
第5回：11月7日	事業開発	新たな事業価値を創造する考え方、 方法について学ぶ	九州大学 経済学研究院 産業マネジメント部門 教授 高田 仁 氏
第6回：11月28日	組織マネジメント	経営として必要な組織全体の マネジメントについて学ぶ	オフィスPDCA代表 蒲田 善行 氏

Topics of the month

ひろ せ とし あき 廣瀬俊朗氏による講演を開催しました!

2023年11月29日(水)、FFG経営者クラブ(※)は、ラグビー元日本代表の廣瀬俊朗氏をお招きし、『会員様限定トップセミナー』を開催いたしました。

例年ご好評をいただいております会員様限定トップセミナーは、169名と多くの方々にご参加いただきました。

(※)「FFG経営者クラブ」はFFGの福岡、熊本、十八親和銀行の会員企業様に向けて、ビジネスに直結する情報提供やセミナーなどの各種サービスをご提供することで、事業発展をサポートすることを目的としています。

廣瀬俊朗氏には「良いリーダーと組織」というテーマで、2023年ラグビーワールドカップ(以下、W杯)の振り返りにも触れながらご講演いただきました。

経営目線での目的の明確化の重要性や、リーダーとして必要な心構え、組織力を高めるマネジメント法、仲間とのコミュニケーション法を踏まえた上で、2023年度W杯の各国の試合を振り返りました。チームマネジメント目線でチームメイトの個性を生かし勝利を得たという解説や、2015年W杯の南アフリカ戦で歴史的勝利を収めた理由とその裏側など、ロッカールームでのチームメイトとの当時の映像ともにお話しいただきました。スポーツと企業経営のマネジメントは通ずることが多くあり、講演後の廣瀬氏との質問タイムでは終了時間を超えて

も多くの質問が寄せられ、会場は大いに盛り上がりました。受講後のアンケートでは「ラグビーにおけるリーダーシップもビジネスに通じるものがあると発見できました」、「売上、利益など業績以外の目標設定の必要性と重要性を感じました」など、喜びの声が多く寄せられました。

ふくおかフィナンシャルグループでは、今後も「あなたのいちばんに。」のブランドスローガンのもと、地域を支える経営者のために有益な情報提供とサービス品質の向上に努めてまいります。



ザ・リッツ・カールトン福岡 3階ボールルームにて開催



廣瀬俊朗氏



福岡銀行 橋爪常務による主催者挨拶

熊本銀行が地域防災力強化に向けた連携協定 「移動式急速EV充電機を活用した 災害時連携に関する協定」を締結しました!

熊本銀行は、環境負荷の少ない燃料で稼働する移動式急速EV充電機「BME」を自社開発した株式会社未来樹(以下、未来樹)との連携協定を締結し、災害時にBMEを活用することで地域の防災力強化を目指します。

経緯と背景

熊本銀行は、地域のカーボンニュートラル実現を目指し、「2023年7月から「油田プロジェクト」に参画しています。油田プロジェクトは、廃食油を収集し環境負荷の少ない良質な高純度バイオディーゼル(以下、BDF)に再生するプロジェクトで、熊本銀行では、役員家庭から出た廃食油を収集、提供する活動に取り組んでいます。

未来樹は、これまで油田プロジェクトの運営企業として積極的に取組みを進めながら、今回のBDFを燃料とする移動式急速EV充電機(以下、BME)の自社開発に至りました。BMEは100%BDFで発電し、平常時は電気自動車への充電を行います。また、災害発生時には被災地域に運搬し、通信機器や家電の非常用電源としても活用可能な全国初の設備です。

これらの双方の取組みに賛同し、本協定が締結される運びとなりました。

連携協定の概要

両社の協定では、災害が発生した際には熊本銀行の本支店駐車場に、未来樹がBMEを無償で貸与・設置します。BMEを近隣住民が非常用電源として使用できるほか、近隣住民や事業者が所有する電気自動車を充電し、所有者が自宅等で電気自動車を非常用電源として使用できる体制を整えます。

また、平常時には防災訓練日



移動式急速EV充電機「BME」の前で記念撮影
左から、未来樹 新永取締役、北岡常務(熊本銀行)

〈移動式急速EV充電機を活用したカーボンニュートラル、災害時復旧支援のイメージ図〉

カーボンニュートラルの仕組み
(油田プロジェクト)



BDF使用



給電

災害時復旧支援



を設けて定期訓練を行い、災害時のBME活用と環境・防災意識の向上を目指します。
熊本銀行は今後も取組みを継続し、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。



ちょっと釣り道

[加布里湾、追憶のアイナメ編]
Vol.24



- ①春の日差しにナニ想う……
- ②山口の海は冬の日本海……寒い
- ③この辺に高級魚のアコウも増えたわ…
- ④七山のハヤ(ホントは山女魚のハズ泣)
- ⑤阿蘇の外輪に想ふ
- ⑥サバは乱獲可能でありがたや
- ⑦これがアイナメ(鮎魚女)じゃ～

釣人から愛されてる魚です。それが地球温暖化の影響か、今や北部九州では見かけることが少なくなりました。私がそれを釣って楽しんでいた中学生の頃に比べれば、博多湾はかなり汚染が浄化されキレイな水質になったのです。思えば私が釣りを始めたのは、育った家庭と父の影響があるのかもしれません。とにかく厳しくい

「アイナメ」という魚がいます。子供のころは博多湾でよく釣れた魚です。一般の方にはあまり馴染みの無い魚かもしれませんが、鮎魚女とも書き、極めて美味で全国の釣人から愛されてる魚です。それが地球温暖化の影響か、今や北部九州では見かけることが少なくなりました。私がそれを釣って楽しんでいた中学生の頃に比べれば、博多湾はかなり汚染が浄化されキレイな水質になったのです。思えば私が釣りを始めたのは、育った家庭と父の影響があるのか

「Ars longa, vita brevis 芸術は長く、人生は短し」音楽家坂本龍一氏の好んだ一節。80年代、一世を風靡したYMOの高橋幸宏氏に続き2023年3月にその坂本龍一氏も逝去されました。私は数年前に父を亡くしましたが、「そこに必ず在る」と思っていたものが失われること、この歳になるとそれが増えてくるのだと実感せずにはいられません。万物は流転するという言葉もありますが、釣りを永く続けているとそれをよく実感させられるのは人生と同じなのかも。

ろいろ遊びを制限されていた中で、近所のお兄ちゃんが町内の池でザリガニを釣ってくる姿がいかに羨ましく輝いて見えたことか！内緒でザリガニ釣りに行つては泥だらけになり叱られてました。また幼少の頃、父は病気がちで入院と自宅での療養を繰り返してました。そのためあまり遊んだり相手にもしてもらった記憶も無いばかりか、神経質ですぐ怒られるため、あまり話したくはなかったくらいでした。そんな父がまだ元気だった頃、船釣りに行き魚がいっぱい入ったクーラーを開けて見せてくれました。今となっては大したことないサイズの魚が入ってる中身でしたが、その時に素直に凄い！と思いました。その後父が回復してきて、家族で加布里湾の渚に佇む割烹旅館に小旅行する機会がありました。その時に父が釣りをしようと言いついで親子で初めて投げ釣りをしました。

その時に父は25cmくらいのアイナメの好物を釣り上げたことから、ホントに釣り名人!?!と思えました。それから大人になっても釣りや音楽を続けましたが、まともにアイナメが釣れたことはありません。加布里の割烹旅館もいつの間

また幼少の頃、父は病気がちで入院と自宅での療養を繰り返してました。そのためあまり遊んだり相手にもしてもらった記憶も無いばかりか、神経質ですぐ怒られるため、あまり話したくはなかったくらいでした。そんな父がまだ元気だった頃、船釣りに行き魚がいっぱい入ったクーラーを開けて見せてくれました。今となっては大したことないサイズの魚が入ってる中身でしたが、その時に素直に凄い！と思いました。その後父が回復してきて、家族で加布里湾の渚に佇む割烹旅館に小旅行する機会がありました。その時に父が釣りをしようと言いついで親子で初めて投げ釣りをしました。



13



12



8



15



14



10



9



17 16



11

⑧アジングの竿でニジマスと遊ぶ ⑨近海にこんな巨大水イカが!! ⑩玄界島は夕陽に焦がれる ⑪静かな加布里湾に糸島富士 ⑫博多ポートタワーはブルーに映えてる
⑬伊万里湾はオレンジに燃える ⑭ペラは散々……長崎では高級魚だけど ⑮南阿蘇の景観は忘れられぬ ⑯博多湾の刀狩りよ永遠なれ! ⑰玄界灘はレンコ鯛めっちゃ多いわ~!

か無くなっていました。
釣りを続けることで、いつか父と何気ない対話ができるかもしれないと無意識に思っていたのかも。それから一度、父を連れて志賀島へ行く機会を持っていましたが、そこで見たのは荒々しい玄界灘の前に弱々しく、か細く丸まった父の背中と釣具の操作も覚束なくなった姿でした。それからは私も家庭を持ち自身も父になり、いつしかそんな追憶を思い起こす余裕さえ無くなっていました。
そして数年前、父とは話さねばならないことはたくさんあったにもかかわらず、叶うことなく逝ってしまいました。
その頃は坂本龍一氏の音楽からも遠ざかっていました。氏のデビューアルバムに「千のナイフ」という曲があります。毛沢東の漢詩の朗読が始まり、11台の当時最新鋭のシンセサイザーを駆使し山下達郎、渡辺香津美など超一流のプレイヤー達と作り上げた実験的なその曲は、まさに様々な音色のナイフが壮大に迫ってくる感があり、釣りに行く時の高揚感をさらに煽りたてました。それは中学時代、自分の足で博多湾などに冒険に出始めた頃に聞いていた曲でした。今

でも耳に残るその多彩で煌めく音色は、複雑な少年期の頃の、ウエツトだけどざらついた感情の機微を匂い起こしてくれる気がします。
釣りを続けると、森羅万象の中に新しい発見をしたり、人との新しい関わりができたりすることがあります。
釣り道というタイトルで拙稿を書かせていただいてきましたが、潮騒を聞きさんざめく星空の下、新しい交わりもできれば、求めたとしても、もう決して交わることもない歩みもあるのだと、今さらながら気づかされます。
最近、ちよこちよ博多湾でアイナメが釣れ出したという話を聞きます。久しぶりにアイナメ釣りにーわ。
釣りは、私を、いやあなたをいろいろなものから解放し自由にしてくれるかもしれません。音楽もいつも傍にありました。
Musik Macht frei
「音楽は自由にする」
教授、貴方の軌跡と音楽は尊く正に久遠の快美で、十二分に永いものでしたよ。
そんなことを想ひまた歩いていこう。
び……codar.

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、株式会社INTERMEDIAの代表取締役であり株式会社水脈(mio) 代表取締役も務めている佐々木 翔様から「今、私が長崎に貢献できること」と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



ながさき経済web画面

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。





今、私が長崎に貢献できること

寄稿 株式会社INTERMEDIA
株式会社水脈(mio)
代表取締役 佐々木 翔

はじめに

はじめまして、佐々木翔と申します。島原市で建築設計事務所の代表をしております。福岡で約7年間、東京で約5年間過ごした後、島原へ帰る決断をしました。今回は地元へ帰ることを決断した経緯と、そこからどんな活動を行ってきたのか、そして今、どんなことに興味があるのかについて綴りたいと思います。

帰郷までに

私は当初から島原に帰ることを決めていたわけではありません。むしろあまりそのつもりは無く、大学時代を過ごした福岡か、社会人で暮らしていた東京か、都市的な場所ですら独立して設計事務所を立ち上げるイメージを持って大学以降の人生を過ごしていました。そこからの島原へ戻る決断に至ったのか、端的には二つあります。ひとつは物流とネット環境の安定で

す。島原でも2015年時点で翌日にはほとんどの物資が届くサービス(ASKULやAmazonなど)が展開されており、光回線も開通しており、その状況だけ見れば都市的な環境と何ら遜色ない状況でした。たまたま帰郷する度にそのことに気づき、意外とこんな田舎でも仕事できてしまうんだなと実感していました。もうひとつは都市部と地方での建築設計者の立場の違いです。特に東京ではほとんどのエリアで人為的な開発が進んでおり、設計者として何か携わろうとしても相手が大企業だったり規模が大きすぎ

たりして、何の人脈もなく実績もない独立したての私が活動するイメージが全く湧きませんでした。もしくは、とても小さな改修から仕事を始める選択肢もありましたが、あまり未来をポジティブに考えることが難しかったなと今では思います。一方で長崎・島原にたまたま帰ると、父がINTERMEDIAで進めていた仕事がとても魅力的なものばかりに見えました。ヒューマンスケールの程よい規模で、まだまだ新築の機運があり、クライアントとの距離も近い。また、自分がこれまでの人生で培ってきたものを、建築



Profile

インターメディア
株式会社INTERMEDIA
株式会社水脈(mio)
代表取締役 佐々木 翔

1984年長崎県島原市生まれ。
18歳まで島原市で育ち、大学・大学院時代は福岡在住。
東京の建築設計事務所で5年間の実務経験後、2015年に30歳で島原に帰郷。父親が経営していた建築設計事務所「INTERMEDIA」に合流。
2022年、同社代表取締役に就任。同じく、島原市の地域拠点交流施設「水脈 mio」の代表取締役も兼務。
長崎、九州、福岡、佐賀、鹿児島各大学の非常勤講師を務める。

INTERMEDIA



水脈 mio





2010年3月に竣工した長崎港松が枝国際ターミナル。大学院生時代にプロジェクトの一員として関わり、自身で図面を描いたものが初めて立ち上がり、我が子が生まれたような感動を覚えました。

を通して地元に戻元できるかもしれない、という喜びもあるような気がしました。少なくとも今、この時代で建築設計を行うには長崎へ帰ることが理想的に思えました。

建築設計の 専門家としての想い

そして2015年、私は長崎・島原へ戻ってきました。父が進めていたプロジェクトが多くあり、まずはそこをサポートする形から入りました。そして新規の依頼があれば、徐々に私の考えを、プロジェクトを通して形にしていく作業を繰り返していました。まず前提として、父やINTERMEDIAへのリスペクトがあります。少なくとも何も実績のない私に依頼が来ているわけではなく、父がINTERMEDIAで1989年から培ってきた実績や関係性の賜物であることが前提にあります。その中で私に何ができるのかを考えていました。その中でほぼ最初に携わったプロジェクトが「音楽ホールの山」でした。諫早市で依頼を受けた住宅のプロジェクトで、結果的にストップしてしまったのですが、建築界の若手の登竜門と呼ばれるSD Reviewで入選



音楽ホールの山
| 第34回SD Review 2015 入選 | 鹿島出版会



音楽ホールの山 断面イメージ

を果たし、そこから母校である九州大学の恩師から非常勤講師のお誘いを頂いたり、学生から卒業設計展の審査員として呼んで頂いたりなど、少しずつ私自身を知って求めて頂く場面が生まれてきました。それからしばらくは、あくまで建



長崎のカステラ工場 | Architects of the Year 2019 入選 | 日本建築設計学会

築設計の専門家として、長崎の社会やまちに貢献したいと思っていました。もちろんその想いは今でも根底にあります。もう少し開かれた貢献の仕方もあるのかもしれない、と思いはじめたのが2018年頃です。



武家屋敷オフィスの開設

INTERMEDIAの本社は島原市有明町にあります。有明町は平成の大合併までは南高来郡であり、農業・漁業等の第一次産業が盛んな町です。つまり周囲は田畑に囲まれた豊かな風景が広がっているのですが、それらはあくまで一次産業的なものであり、町並みや文化のようなものはあまりありませんでし



INTERMEDIA武家屋敷オフィス内部 | 長崎県島原市 | 2018-2022年

た。一方、車で15分ほど南下すると島原市の中心部があり、島原城を中心とした湧水にあふれた文化的な景観や町並みが今でも残っています。せっかく島原を拠点に暮らしているのであれば、そういった環境を目の前にして活動を行っていくと何か発見があるかもしれない、と漠然と感じ、INTERMEDIAのサテライトとして武家屋敷オフィスを開設することにしました。それが



INTERMEDIA武家屋敷オフィス【外観】

2018年です。

このオフィスの開設後、島原半島へ移住してきたスタッフが増えまし
た。大阪、東京、兵庫、香川、福島などなど、九州外の出身者が大半を占めています。2023年には更に東京からの移住者が2名増えていきます。

HOGET(西海市)や uminoわ(東彼杵町) での出会い・発見・渴望

そして、偶然なのか必然なのか定かではありませんが、この頃から設計するプロジェクト自体が少しずつ変化してきました。まず、リノベーションの案件が増え始めました。最初に実現したのは2018年、五島列島・小値賀町の「おぢか薬局」です。その翌年、2019年から西海市の「HOGET」、2020年には「uminoわ」のプロジェクトがスタートしました。この3つのクライアントはほぼ同年代・友人のよう

な間柄であり、いわゆる建築設計の議論だけでなく、そもそもなぜこの建築を必要としているのか、その用途の必要があるのか、日頃どんなことを課題として向き合っているのかなど、クライアントの根幹の部分まで根掘り葉掘り話を聞くことを行っていました。「おぢか薬局」に関しては、小値賀島に調剤薬局が無いという明確な課題があり設計方針を定めやすかったのですが、「HOGET」と「uminoわ」の共通の要件は「過疎化した場所では人が集う場をつくりたい」でした。まず私は設計者として、用途が定まっていない建築を設計できることへの高揚感がありました。今まで見たことのないような建築が生まれるかもしれないと思ったからです。同時に、過疎化が進行している長崎・島原にUターンしてきた身として、本当にそんな夢のような場所を実現できるのか、という期待感と懐疑的な気持ちが生かされていた気がします。



おぢか薬局 | 長崎県北松浦郡小値賀町 | 2018年



HOGET | 長崎県西海市 | 2020年 | 撮影: YASHIRO PHOTO OFFICE



uminoわ (写真左下の三角形の建物) | 長崎県東彼杵町 | 2022年 | 撮影: YASHIRO PHOTO OFFICE

我々は場をつくる設計者の立場として、クライアントは運営者の立場として、とことん話し合いを重ねて、いずれも無事に実現に至りました。それから何度も足を運んでいます。びっくりするのは、「HOGET」や「uminoわ」に行くとき、必ず誰かと出会うんです。特に「HOGET」では、地元・島原では会ったことがない島原在住の方とこの2年間で何度も出会いました。

そこで僕は思ったんです。こういう場所はきつと身近に点在しているべきだと。SNSによって直接会わなくともコミュニケーションが図れてしまう時代だからこそ、また子供や孫が都会に居て身近に居ないことが多いエリアだからこそ、きつと物理的に出会い、話したり、新しい何かを見たり聞いたりすることを渴望しているんじゃないかと。それが僕が地元の島原で「水脈 mio」の活動を行う原動力になっています。

水脈へ込めた想い

「水脈 mio」は、2023年3月25日に開業を迎えました。前述のとおり、様々な人が気兼ねなく集い、行き交うような場を地元につくりたいという想いがあります。水脈はもともと「旧堀部家住宅」という築170年超の古民家で、島原市が所有しているものです。まず2020年12月、この建物をワーケーション施設として活用するための設計プロポーザルが行われ、我々を含む設計チームを選定頂きました。その後、2022年5月には運営のプロポーザルも実施され、こちらも島原市から選定頂き、運営も行うことになりました。つまり本業として施設設計を行うまでは「HOGET」や「uminoわ」と同じですが、はじめて運営まで担うことになりました。機能としてはカフェ、宿泊施設、ワーキングスペース、イベントスペース等が複合したものです。この中のワーキングス



水脈mio | 万町アーケードからの外観 | 2023年 | 撮影: taratine



水脈mio | 湧水流れる元炊事場とソファ | 2023年 | 撮影: taratine



水脈mio | 2階コワーキングスペース | 2023年 | 撮影: taratine



水脈mio | せせらぎの湧水庭と客室「喫」 | 2023年 | 撮影: taratine

ペースにはINTERMEDIAのサテライトオフィスも入っており、数名のスタッフが水脈を職場として日常的に出入りしています。つまり、INTERMEDIAのオフィスが地元を開かれた施設とも言えます。

場所は島原市万町アーケードの中段に位置していて、雨天時にもアクセスは良好です。周辺に魅力的な飲食店や観光コンテンツが点在しているため、水脈ではあまり強いコンテンツを持たないようにし、むしろ島原に元々ある魅力的なものを紹

介し、実際にその場所にアーケードを介して行って頂くことで、島原全体の良さを知って頂くような取り組みを行っていきたいと思っています。例えば宿の夕食は、アーケードの向かいにある「お料理 まどか」にて提供します。例えばカフェで提供しているフードの食材はすべて島原半島内のものであり、必要があれば販売しているスーパーや生産者をご紹介しますこともできます。飲料水はすべてその日に汲んだ湧水であり、客室の庭や屋内にも常に湧水が流れてお

り、島原が育んできた文化そのものを実感することができます。島原の住民は、元々湧水所に集まり、野菜の泥を落としたり魚を捌いたり洗濯物をゆすいだりしてきました。水があり、そこに人が集う。そんなとてもプリミティブな振る舞いが残るこの島原で「水脈 mio」として、これからも人が集う場を展開していきたいと思っています。ぜひ皆さま、湧水で淹れたコーヒーを飲むだけでも、ゆったりとご宿泊頂く形でも構いません。何か水脈を活かした

イベントがあれば大歓迎です。ぜひ一度お越しください。

そして、すべての活動の基本として、本業のINTERMEDIAがあります。これらの活動が本業の建築設計にどのような影響を与え、今後どんな建築を生み出していくのか。設計という行為そのものは場所を選びません。水脈で得た知見を、様々な場所で、様々な形で展開し、長崎に少しでもポジティブな貢献ができれば。そう思いながら、島原から日々活動していきます。

水脈mio | 2階コワーキングスペース | 2023年 | 撮影: taratine

みんなの銀行の特徴

初回特典コード※を使って口座開設すると、現金1,000円がもらえる!



アプリをダウンロード

アプリストア (App Store / Google Play) からみんなの銀行アプリをダウンロード。

情報入力&本人確認

必要情報を入力した後、本人確認を行います。本人確認書類をご準備ください。

初回特典コードを入力

忘れずに紹介コード画面で初回特典コード「MugBrLdZ」を入力してください。

口座開設完了

本人確認など完了後、パスワードなどを設定すれば口座開設は完了です。

※初回特典コード「MugBrLdZ」の有効期限は2024年8月31日(土)23:59です。初回特典コードとは、はじめての口座開設で特典が受け取れるコードです。口座開設手続きにおける初回ログイン後に入力することで、口座開設特典の1,000円を受け取ることができます。特典額は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。口座開設後に、初回特典コードを入力することはできません。初回特典コードは初回ログイン後、お手続き最後のステップ「紹介コード入力画面」でご入力いただけます

プレミアムサービス

プレミアムサービスに加入すると、便利なサービスがお得に使える!



プレミアムサービスは月額600円(税込)

はじめてご加入の方は
6ヶ月間無料!

※金利は年利率です。利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。上記の金利は、市場金利情勢などにより変更になる場合がございます。上記預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。金利についての詳細は、ウェブサイト (<https://www.minna-no-ginko.com/rates-and-fees/>) をご確認ください
※プレミアムサービスについての詳細は、ウェブサイト (<https://www.minna-no-ginko.com/premium-service/>) をご確認ください

	プレミアム会員	プレミアム会員以外
サービス利用料	月額600円(税込)	0円
貯蓄預金金利*	0.3%(税引後0.239%)	0.1%(税引後0.079%)
他行宛振込手数料	月10回まで無料	200円/回(税込)
ATM出金手数料	月10回まで無料	110円/回(税込)
デビットカード キャッシュバック率	1.0%	0.2%

プレミアムサービス申込方法



Premiumをタップする

マイページ画面内のPremiumをタップしてください。



Premiumを申し込む

プレミアムサービス利用規定の内容を確認し同意のうえ、申込みしてください(初回入会から6ヶ月間は無料)。

貯蓄預金への入金方法



貯蓄預金(Saving・Box)へ移動

Banking画面から普通預金(Wallet)→貯蓄預金(Saving・Box)へドラッグ&ドロップでお金を移動できます。

プレミアム会員なら
貯蓄預金金利

0.3%

税引後0.239%



Minna no Ginko

みんなの銀行アプリはこちらから



〈本キャンペーンの対象外となる場合〉

- ・プレミアムサービスを途中で解約された場合、解約後の期間は、キャンペーン対象期間中であってもキャンペーン金利は適用されません。ただし、キャンペーン期間内にプレミアムサービスを再契約した場合は上乗せ金利が適用されます
- ・解約された口座で申し込みされたプレミアムサービスの契約期間が残存しており、新たに開設した口座でプレミアムサービスにお申込みいただけない場合
- ・当行普通預金規定、貯蓄預金規定、その他各種利用規約に違反した場合、またはその恐れがあると当行が判断した場合
- ・「反社会的勢力でないことの表明・確約」に違反したことが判明した場合

「反社会的勢力でないことの表明・確約」本キャンペーンの参加者は、現在または将来にわたって、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者等の反社会的勢力に該当しないこと、および暴力的行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為等違法行為を行わないことを表明・確約するものとします。かかる表明・確約に違反したことが判明した場合には、本キャンペーンの適用対象外とします

・その他、金利上乗せすることが適切でないことが判断した場合

※口座開設には審査があり、開設できない場合がございます。また審査によっては、即日開設できない場合がございます※当行で口座開設できる方は、個人、15歳以上、日本国籍、国内居住者に限ります。また、すでに当行に口座をお持ちの方は、お申込みできません※当行へ届出する電話番号は、他のお客様が当行へ届出済みのものでなく、当行アプリ搭載スマートフォンで送受信可能な番号を登録してください※みんなの銀行アプリに初めてログインした際の「紹介コード入力」画面で「初回特典コード」を入力してください。口座開設完了後に、「初回特典コード」を入力することはできません※キャッシュカードは発行しません。スマートフォン上にQRコードを表示し、セブン銀行ATMで現金入出金ができます※普通預金と同時に貯蓄預金を開設します。解約の際も、普通預金と貯蓄預金は同時に解約します※口座開設と同時にバーチャルデビットカードが発行されます。審査結果によってはご利用いただけない場合もございます※セキュリティ上の観点から、ご利用いただけるスマートフォン端末は1台のみです。複数端末での同時使用はできません。また、他のお客様が届出済み電話番号と同一の番号を登録してはなりません※公共料金、クレジットカード代金などの口座振替は、現時点ではお取り扱いしていません※掲載しているアプリ画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります

Ⅲ

スマホ完結型デジタルバンク
みんなの銀行



3ヶ月間の貯蓄預金金利が、

特別
金利

1.0%
税引後 0.7968%

キャンペーン概要

FFG調査月報をご覧のみなさま限定のキャンペーン!

■ キャンペーン対象者判定期間

2024年2月29日(木)~2024年3月31日(日)14:59まで

■ 対象者(特典獲得条件)

- 対象者判定期間中に、以下の適用条件をすべて達成した方
- ①初回特典コード「MugBrLdZ」を入力して初めて口座開設された方
 - ②①達成後、プレミアムサービスに申込みされた方

■ 特典内容

3ヶ月間、貯蓄預金^{*1}金利1.0%(税引後0.7968%)^{*2}を適用いたします

■ 特別金利付与期間(2024年)

特典獲得条件達成日	特別金利開始日	特別金利終了日
2月29日(木)~3月3日(日)	3月18日(月)	6月18日(火)
3月4日(月)~3月10日(日)	3月25日(月)	6月25日(火)
3月11日(月)~3月17日(日)	4月1日(月)	7月1日(月)
3月18日(月)~3月24日(日)	4月8日(月)	7月8日(月)
3月25日(月)~3月31日(日)	4月15日(月)	7月15日(月)

※上記期間のうち、特典獲得条件達成日ごとに3ヶ月間限定で特別金利が適用されます
※期間中の預入であれば何度でも適用されます
※貯蓄預金への預入日が金利適用開始日ではありませんのでご注意ください

POINT 1 貯蓄預金だから...

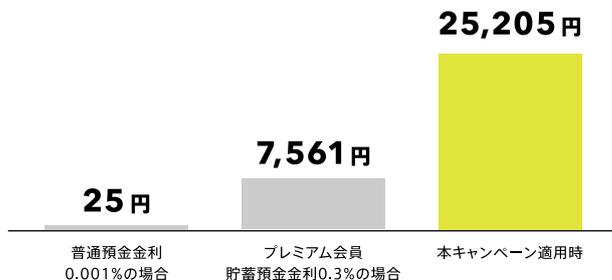
高金利なのに
出し入れ自由!



POINT 2 プレミアム会員ならキャンペーン終了後も

貯蓄預金金利 **0.3%**

POINT 3 1000万円を預け入れの場合



3ヶ月^{*3}の利息が普通預金の**1,000倍!**

本キャンペーンは予告なく変更・延長する場合があります。当行(みんなの銀行)の他行宛(福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行含む)振込限度額は500万円/日です

※1貯蓄預金(Saving・Box)への預入が必要です

※2税引後0.7968%です。記載の金利1.0%(税引後0.7968%)は年利率です。特別金利は0.3%(貯蓄預金基準金利0.10%にPremium会員特典で0.20%を上乗せしたものに0.7%を上乗せした1.0%を適用したのになります。利息には地方税、復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。上記の基準金利は、市場金利情勢などにより変更になる場合がございます。上記預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。金利についての詳細は、ウェブサイト(<https://www.minna-no-ginko.com/rates-and-fees/>)をご確認ください。貯蓄預金の利息は、毎日の最終残高1,000円以上について付利単位を1円として、毎年2月と8月の第3日曜日(利息決算日)の翌営業日に、当行ホームページに表示する毎回の利率によって計算のうえこの預金に組入れます

※33回の受け取り利息は3ヶ月=92日として計算しています

〈春季企画展〉

花々の彩り

2024年
3/9
(土)

6/1
(土)

十八親和アートギャラリーでは、3月9日(土)から6月1日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて、春季企画展「花々の彩り」を開催いたします。春季企画展での花を主題とした作品の特集展示は2020年以来3回目となります。

本展では、日展を中心に活躍した鈴木千久馬の「薔薇」をはじめ、朝比奈文雄の大作「薫風」、塩見仁朗の「睡蓮」など、油彩画と日本画による12点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行ってまいります。また、陶磁器展示室2に於いて、陶磁器小企画「現代陶工」多彩な表現」を3月9日(土)から10月26日(土)まで開催いたします。中島均の「辰砂釉渦彫花器」、樋渡陶六の「影青六方割花器」など6点をご紹介します。あわせて、ご鑑賞くださいませ。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

塩見仁朗(しおみにろう)・・・1929～1996。宮崎市生まれ。1951年京都市立美術専門学校(現、京都市立芸術大学)日本画科卒業。同研究科在学中に第18回新制作協会展で初入選。新制作協会会員の後、創画会設立に参加、同会員。亜熱帯の植物を数多く描き残した。92年から京都市立芸術大学客員教授として教鞭を取った。

十八親和アートギャラリー

【開館時間】午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12月30日～1月4日)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

電話 0956-2314856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

賞料
鑑無



塩見 仁朗「睡蓮」日本画F10号

